昭和44年12月23日第3種郵便物認可　昭和53年 9月15日発行（毎月 1 回15日発行通券第107号）

バドミントン 9

日本バドミントン協会　The Badminton World No. 107　1978

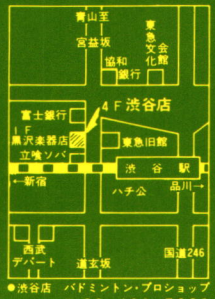


在庫日本一
池袋店へ
レッツGO!!

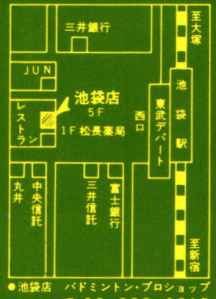


●年中無休
●営業時間　渋谷・池袋店
AM10：00～PM７：00
横浜店
AM10：00～PM８：00

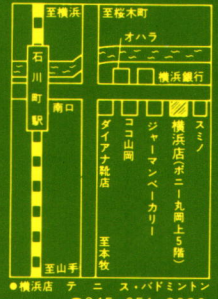
ラケットショップ元町



●渋谷店　バドミントン・プロショップ
☎ 03-400-7390



●池袋店　バドミントン・プロショップ
☎ 03-988-0215



●横浜店　テニス・バドミントン
☎045-651-2020

バドミントン界

❷
ハッシュマン夫人著・後藤忠弘訳
スターティング・バドミントン2

⓬
グラフ・全国高等学校総合体育大会
男子団体戦

⓭
グラフ・全国高等学校総合体育大会
女子団体戦

⓮
グラフ・全国高等学校総合体育大会
男子シングルス

⓳
グラフ・全国高等学校総合体育大会
女子シングルス

⓴
グラフ・全国高等学校総合体育大会
男子ダブルス

㉑
グラフ・全国高等学校総合体育大会
女子ダブルス

㉔
栂野尾悦子・連載
心も体も宙に浮いた全英選手権優勝

㉗
寺田太郎・連載
「タバコの害について」

㉙
高田正純・連載
〝事実〟はひとつか？

㉚
海外トピックス
カナダのジュニアたち

㉛
ヨーロッパ情報
英連邦大会でイングランド勢活躍

㉜
79年版カレンダー予約のお知らせ
編集室から

◇表紙デザイン・構成、本文カット＝野間デザイン室／表紙・本文写真＝赤星三樹（使用カメラ・レンズ＝アサヒペンタックスMX、K2　SMC－P－M50/1.4　SMC－P　200/2.5　300/4）／現像処理＝㈱クリエイトフォト・タカ◇今月の表紙＝第68回全英選手権混合ダブルス優勝のM・トレジェット、N・ペリー組（イギリス）

これから始める人へ

スターティング・バドミントン

Starting Badminton
by Judy Hashman and C.M.Jones
Japanese language serial rights arranged
with Ward Lock Ltd., London
through Tuttle-Mori Agency, Inc., Tokyo.

ジュディ・ハッシュマン、C·M·ジョーンズ共著
後藤忠弘訳、栂野尾昌一・悦子協力

2 ストローク入門

さて、あなたもお友達かだれかと、曲がりなりにも打ち合いの練習をやってみて、シャトルがどんなふうに飛ぶものか、大体は、おわかりになったことでしょう。それならば、さっそく本格的な練習に入ることにします。まずは正しいラケットの握り方から始めましょう。

1・ラケットの握り方（グリップ）[注1]

ラケットの握り方は、大別して二通りあります。両方とも覚えれば、バドミントンのあらゆるショットが打てます。この二つとは、フォアハンド・グリップ[注2]とバックハンド・グリップ[注3]です。その違いを十分にのみ込みましょう。

上手なプレーヤーが使っているフォアハンド・グリップを覚えるには、次のように（第3図）します。

ラケットを地面に平行に、体の前に突き出すようにし、左手で首（柄のつけ根）を握ります。ただし、打面だけは地面と直角になるようにします。

右手を伸ばし、てのひらを打面に当て、そのまま体の方に引き寄せます。ハンドル（ラケットの握りの部分）の尻の所まで引き寄せたら、そのままハンドルを握ります。ちょうど、握手をするような形です。

中指、薬指、小指の三本でハンドルをしっかりと、といっても馬鹿力などはこめないで、握ります。親指と人差指はハンドルに軽く添える感じにとどめ、ラケットの動きの度合いと方向をコントロールするのに役立てます。

ラケットは、自分の腕の延長同様に感じられるようになるまで、握り、振り、なじまなければなりません。

グリップは、ラケットが手の中でぐらぐらしないように、しっかりと、しかし軽くやわらかく握ります。この逆にならないよう、気をつけましょう。

このように握ると、手首と腕に力が入るのを防ぐことができます。最初から力が入っていると、筋肉の柔軟な動きがそこなわれ、いわゆる〝タッチ〟の微妙な感触を台無しにしてしまいます。

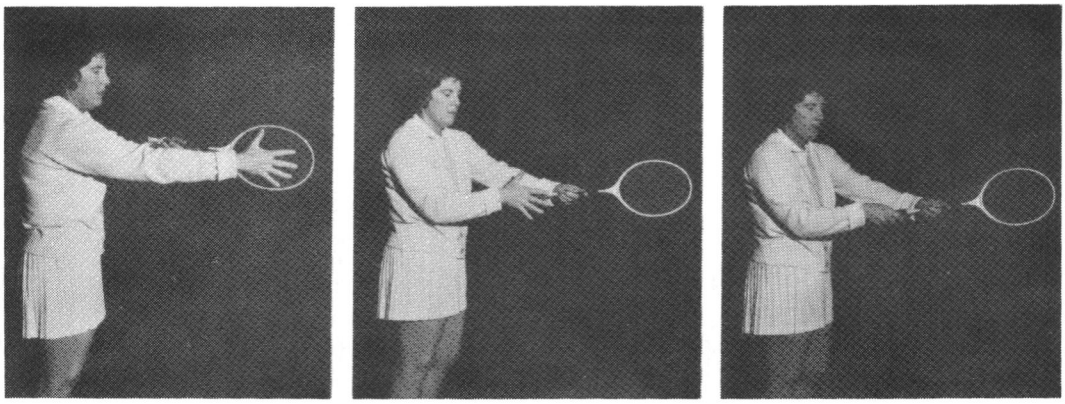
手首と肘から力を抜いていればこそ、ラケット・ヘッド（打面）のスピードを最大限に高めることができますし、ショットの要求に応じて、スピードは思うがままの変化をつけることも可能になるのです。このような技術は、上級レベルのプレーには欠かせないものです。

ひとつ、面白い実験をしてみましょう。まず、できる限りきつくハンドルを握りしめ、ラケットを振ります。次に手首の力をゆるめてラケットを握り、振ってみます。後者の場合の方が、はるかにスイングにスピードがつき、しかも、自由自在な方向に動かせることがわかります。

打球の瞬間から直後にかけてラケットをきつく握る必要があるのは、スマッシュのときだけです。それも、その第一の理由は、ラケットが手からすっぽ抜けていかないようにするためなのです。

よいストロークは、ラケットが思うように振り回せて、ねらった通りの働きをすることから生れます。最初からグリップに力を入れていると、腕と手首が硬くなり、ラケットを振っても思うようなスピードが得られないばかりでなく、パワーも半減してしまいます。

よい打球のタイミングとは、ラケット・ヘッドのスピードが最高に達した一瞬に、打面がシャトルをとらえることを意味し



第3図

ます。ラケットが、シャトルを飛ばそうとする軌道（想定上の線）に沿って、正しく振られれば、必要とする最大のパワーが得られます。

スイング（ラケットの振り）が正しい軌道を描いているかどうかは、フォロースルー(注4)を見ればわかります。打球の方向性はフォロースルーによって支配されるからです。正しいフォロースルーをしようと心掛ければ、自然に体がついてきて、肩、ラケット、上半身、足が一体となって、そのための動きをするものです。

最大のラケット・ヘッドのスピードを得るには、まず、グリップが正しくなくてはなりません。先述した握手式（フォアハンド・グリップ）でラケットを握って、教えられたとおりの正しい握り方をしているかどうか調べましょう。

握ったまま、右腕を体の前に伸ばします。ラケットの打面のへりから、シャフト、ハンドルを通る線から握った手の親指と人差し指で作られるV字形の底までが、一直線上に並んでいますか。さらに、その線を体の方まで伸ばしてみます。肘の内側のくぼみの中心を通り抜け、腕の下のくぼみの一番上の部分に達するはずです。

V字形が正しい位置から、多少、右へズレ込んでいる場合があります。握っているラケットをカナヅチだと仮定し、ラケットの頭のへりの部分で、壁に釘を打つと考えてごらんなさい。V字形が正しい位置にあるように握っていなければ、うまく打てませんね。指の位置が正しければ、手首のかえしの効果を最高度に発揮することができ、従って、パワーもふえるわけです。

正しい指の位置とは、次のようなものです。すなわち、人差し指を、他の3本の指からやや離して、親指はハンドルの前面（握りの左側）に軽く触れるように置くのです。こうすると、人差し指と親指に、握った時の微妙な感覚が生まれ、それが後後まで役に立つことになるのです。

最もうまいバックハンド・グリップは、これから指示するような方法で求めるのがよいと思います。

フォアバンド・グリップでラケットを握り、そのまま前方に伸ばします。次は、肘を曲げて、ラケットが体と平行になるよう胸の前に持ってきます。

フォアバンドの握り方のままですから、ラケットの打面は地面と直角、つまり、胸と平行になっているはずです。そのままの形から、今後は左手でラケットの首の部分を握ります（つまり、いま両手で持っています）

次に、右手の握りを90度手前（体に近い方）にひねります。そうすると、親指と人差指で作るV字形は、打面の延長線上、正確にいうと、張った糸の真ん中の2本の部分の延長線上に来ます。

最後に、親指だけを上にずらして、いま述べた張り糸の真ん中の2本の延長上に置きます。これで出来上がりです。この握り方を上から見ると、人差し指以下の4本が作る、にぎりこぶしの山のてっぺんが、ちょうど天井を差すことになります。第4図の上の写真を見て下さい。

以上、フォアハンド、バックハンド二通りの握り方に十分、慣れるようにしましょう。フォアからバックへ、バックからフォアへと、握り方を変える練習を積んで下さい。必要に応じて、意識しなくても、すっと変えられるようにならなければいけません。正しい握り方をしているかどうかを、常に点検しましょう。不正確な握り方は、上達の妨げになります。

二通りのグリップを覚えればたいがいのストロークは、こなすことができます。多くのチャンピオンなど、天性に恵まれたプレーヤーたちは、プレー中、臨機応変にグリップを変えるものです。教科書では教えてくれない異常な場面に出くわすと、こういう選手たちは、本能的、瞬間的に、それに対応するやり方を見つけ出すのです。

もちろん、ローマは一日にして成らず、それも長い間の修練のたまものです。正しいグリップをマスターするのに、近道はありません。

シャトルの飛び方には、非常に変化の幅があります。初速は新幹線なみなのに、終局的には死に球となって、垂直に落下してしまいます。このため、他の球技――バット、スティック、ラケット等を使うもの――でなら明白な事実が、おおいかくされてしまいます。

それは、初心者には四つの型があるという点です。すなわち〝押し・突き〟型、〝振り上げ〟型、〝投げ下ろし〟型、それに〝ひっかけ〟型です。

バドミントンで必要なストロ

ークのほとんどは、腕を下からか上からか、振る動作で占められます。押したり、突いたりはネット近くで、時に行われるだけですし、プル（手首を曲げてひっかけるように打つ）は、背後に深い球を打たれ、地面すれすれで、やっと返すような時に必要なだけでしょう。

ストロークの上達に欠かせないのは、手首の力[注5]をフルに活用することで、振り上げ、振り下ろし、いずれの場合にも必要です。初心者ではあっても、たいていは、無意識に、なんとなく手首の力を利用しているものです。経験を積み、よい指導を受ければ、だれでも問題なく、手首の技術はうまくなります。

いずれにしろ、当分は、前述した基本的グリップを身につけるよう努力し、あわせて、手首が最大限、自由に動かせるよう練習しましょう。

〈この項の注〉

（注1）グリップ（grip）は、ラケットの握り方、および、握る場所（つまり、ハンドルの一部分）の二通りの意味に使われる。

（注2）フォアハンド（fore hand）グリップは、フォアハンドでストロークをするための握り方。フォアは前方、前面の意で、てのひら側の打面で打たれるストロークが、フォアハンド・ストローク。

（注3）バックハンド（back hand）グリップはフォアの逆。手の甲側の打面で処理されるものがバックハンド・ストローク。

（注4）フォロースルー（follow through）打ち抜き動作。ラケットに球が当たった後も、打球を追うように、しばらく振り続ける動作。

（注5）本書では、手首の動きについて、再三にわたり、フリック（flick）という言葉を使って説明している。これは、フリック・サービスなどの用語に見られるように、すばやく手首のスナップを使って行うストロークのことで、日本語で通常使われている「スナップをきかせ」るとか「手首をかえして」とかと内容的には同じことである。

2・ラケットの振り方

すべて、ストロークは三つの主要部分――バック・スイング、フォワード・スイング、そしてフォロースルー――から成り立っています。フォワード・スイングの一番大事な部分は、インパクト[注1]の前後、距離にして約30センチぐらいで、これをわかりやすく、簡単に表現するため〝ジップ・エリア[注2]〟と呼んでいます。

バック・スイング

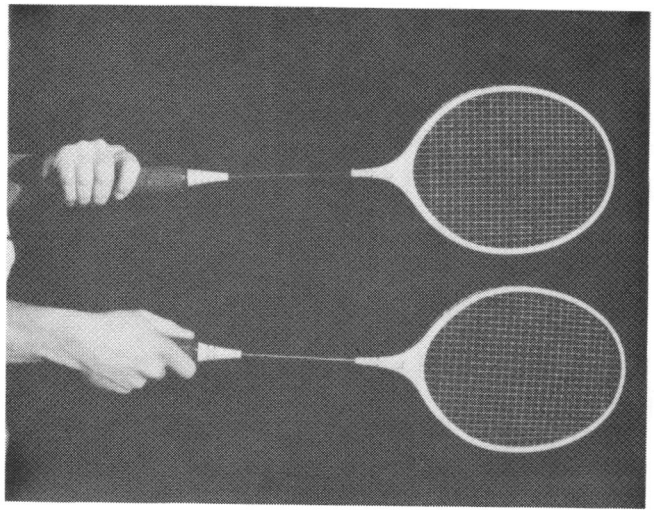
バック・スイングは打球のための予備動作で、ラケット（つまり腕）を、いったん、打球点よりも後方に引く動作です。この場合、シャトルが落ちて来ると同じ方向に、ラケットを引かねばなりません。手首は必ずコック（折り曲げる。フォアハンドの場合なら手の甲側に、バックハンドなら、てのひら側に）します。

第1章で、バドミントンのストロークは9割までが肩の高さより上で打たれることを強調しましたね。このオーバーヘッド（頭上）ストロークを、フォアハンドで打つ場合、バック・スイングでは、肩を十分に後方に引き、引きながら、できるだけすばやく、肘と肩を上の方に引っぱり上げるようにします。

ラケットを握った手が、頭のうしろ、首のあたりに来るぐらいに、肘は高く保ちます。手首も力を抜いてコックします。そうすると、ラケット・ハンドルの端は、肩先につくぐらいの感じになります。

以上が、ラケット・ヘッドが〝ジップ・エリア〟を通り、最大のスピードを生み出すための最もよいバック・スイングの位置関係です。

第4図



フォワード・スイング

フォワード・スイングは、ラケットを、シャトルに当てるために、前方に振り出す動作をいいます。

第1章で、野球の投手を真似て、シャトル投げをしたことを思い出して下さい。シャトルが放たれた瞬間、手がシャトルの飛んでいった方向に、正しく向いていたことを覚えているでしょう。

シャトルの代わりに、今度はラケットを持ち、同じことをや

ってみましょう。もちろん、本当にラケットを放り投げるには及びません。使いふるしの、捨ててもかまわないラケットだし練習場所も広いから、やってみる、というのなら、あえて止めはしませんが――いや、ラケットは意外に遠くまで飛んでいくものですよ。

ラケット・ヘッドのスピードを最大に出す、最も効果的な方法は、スイングそのものにスピードをつけるだけでなく、直線的な、上向き軌道でシャトルをとらえることです。

肘は締めつけないように。インパクトの瞬間には、肘は常に十分、伸びているように気をつけましょう。

最も高い打点で打つように、体をできるだけ真っすぐに伸ばすと、フォアハンドの場合も、バックハンドの場合も、胸廓の右半分が、上に引っぱられるような感じになるでしょう。もうちょっとで手の届く戸棚の戸をなんとかして開けようと手を伸ばす時も、ちょうど、こんな感じです。

フォロースルー

フォロースルーは、スイングの中でも、きわめて大事な存在です。インパクトで最大限のラケット・ヘッドのスピードを得ようと思ったら、シャトルが打面から放たれたあとも、ラケット・ヘッドのスピードをゆるめてはなりません。

常にシャトルを打ち抜く、目の前にある、見えない壁でも打ち抜くんだ、というつもりでスイングすることです。ボクサーは、相手の背骨まで突き通すつもりで、パンチを浴びせろ、と教えられることがあります。あれと同じことです。

シャトルを打ち抜くつもりで振れば、フォロースルーの軌道が、シャトルの飛んだ方向を正しく追いかけることができます。つまり、ねらいった方向にシャトルが飛んだことを確かめられます。また、フォロースルーによって、打球にそれだけパワーを加えることができます。

フォロースルーの自然な流れを、途中で無理に止めようとしてはいけません。腕の存在それ自体が、十分にブレーキの役目を果たします。フォロースルーのやり過ぎ？　などを心配するには及びません。

フォロースルーの速度は、そのショットで要求されるパワーに応じて、一々、違います。

〈この項の注〉

（注1）インパクト（impact）打つ道具と打たれる物体（バドミントンの場合は、ラケットとシャトル）が、猛烈ないきおいと力でぶつかり合う現象。くだいていえば、打面とシャトルが出合う、つまりヒットされることだが、たとえばヘアピン・ショットのように、軽くラケットと球が当る時などには、インパクトという言葉は使わない。

（注2）ジップ・エリア（zip area）ジップはジッパーの同類語で、弾丸が飛んだり、布地が勢いよく引き裂かれたりする時の〝びゅっ！〟という状態を表現する言葉。ジップ・エリアはここでは、ラケッド・ヘッドのスピードが最高になる部分、というような意味で用いられている。ただし、ジップも、ジップ・エリアも、ともにウェブスター・スポーツ用語辞典（米国、76年版（Webster's Sports Dictionary）には収録されていない。

3・フットワーク

バドミントンは、主としてオーバーヘッドで戦われるゲームだと述べましたが、しかし、それはまた、一面では横向きのゲームでもあります。なぜなら、たいていのストロークは、両肩をコートのサイドライン方向に向けたところから始まるからです。

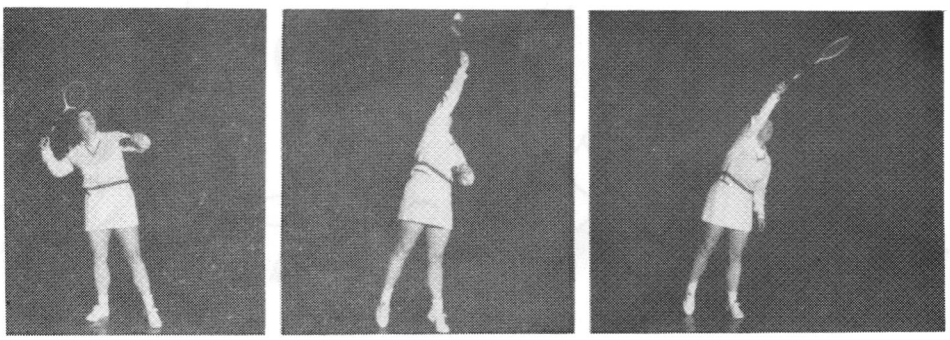
スイングの第二段階、つまりフォワード・スイングに移行するにつれて、上半身が回転して前方に向かい、インパクトの瞬間、両肩と腰がネット方向に正対します。両足の位置は動きませんが、やはり、ひねられて前を向きます。

バドミントンでは、足が跳びはねるような動作はほとんどありません。大部分のストロークに伴うのは、ランジング（注1）かシャセ（注2）です。

シングルスの場合、攻守の基地（注3）となるのは、コートの中央、サービス・コートの前方の区切りを示す横線（ショート・サービス・ライン）の若干、うしろです。ここから、コートの四隅までの距離を、歩いて測ってごらんなさい。四つのコーナーへ等距離にある地点が〝基地〟なのです。

オーバーヘッド・ストローク（クリアー、スマッシュ、ドロップ）の場合

オーバーヘッド・ストローク



第5図

のやりとりでは、シャトルが高く頭越しに打たれます。そしてそのまま見送れば、後方のサービス・ラインあたりに落ちてしまう球を拾うために、しょっちゅう、後退を余儀なくされます。このような打球はクリアーと呼ばれ、庭球でのロブに相当します。

相手が深々とクリアーしてきたら、ラケットを握っている方の肩(右利きなら右)を後方に引き、サイドライン側に向き直りシャセで後退して、シャトルの落下点に回り込み、左手を落下してくるシャトルに向けます。

右足のリードで、シャセの第一歩が後方にうまく滑り出せばあとは、ほとんど自動的といった感じで、ストロークが出来るものです。

左腕を使って、空まで伸ばすようなつもりで、左肩を上向きにし、落ちてくるシャトルから目を離さず、ラケット・ヘッドを、それに向かって、上手から〝投げ出し〟ます。

シャトルが打たれても、目がすぐ飛び出したシャトルを追わず、一瞬はインパクトの地点に残るようにします。

上半身の体重をインパクトの時、フルに利用できるように、両肩を回し、体をネット方向に向けるよう心掛けて下さい。ヒットに伴って、上半身が自然の勢いで流れ、前傾するようにしましょう。

このためには、右足を前方に振り出し、左足も心もち、前方に回さなければなりません。

オーバーヘッドのクリアーは、シャトルが自分の頭上よりも後方に打ち込まれてしまい、相手コートに、打ち下ろしの球を返せない時に使われます。ラケットを〝投げ出す〟パワーは、シャトルを上向きにたたきつけ、相手コート深く打ち返すために活用されるわけです。これは、ふつう、だれでもが一番最初に教わるショットです。

もし、シャセでの後退が早く無事、落下するシャトルの後方に回り込むことが出来た時は、同じようなフォームのスイングで、全力を込めたスマッシュを相手コートの中間あたりに叩きつけます。

クリアーの場合、打点は頭上の真上よりやや後方なのに対し、スマッシュの場合は、やや前方になります。これ以外に、両者の打法に違いはありません。

クリアーとスマッシュのちょうど中間、つまり、真上あたりでシャトルを捕えた場合は、ドロップになります。念のために、三種のストロークの打点を第6図で確かめましょう。

以上、要約すると、フォアハンドの場合のオーバーヘッド・ストロークは、すべて、野球の投手のオーバースローと同じ要領で行われるのです。

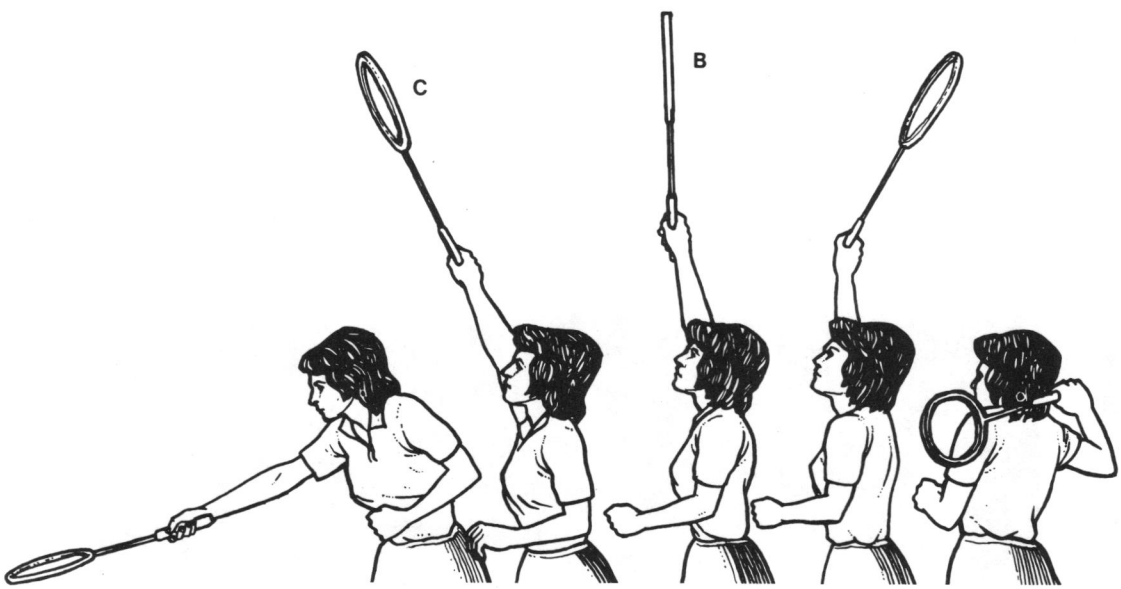
アンダーアーム・ストロークの場合

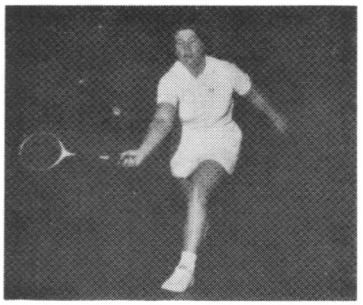
では、オーバーヘッドで処理しきれない、残り10%、すなわち、シャトルが地面近くに落ちてきてしまった場合は、どうでしょうか。低いシャトルを打たなければならない、というのは守勢に回らされていることを意味します。シャトルが、ちょっとでも地面に近くならないうちに、それ、急げ。と、その結果は、たいてい、体のバランスを崩してしまいます。

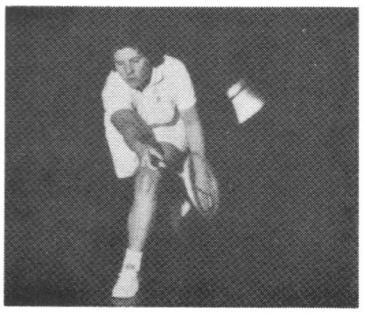
しかし、だからいい球を返せなかった、といっても始まりませんね。難しい場面であればあるほど、すばやく移動して、完ぺきに近いショットを打ち返さなければなりません。

アンダーアーム(下からすくい上げるような打法)で返球の要に迫られるのは、多くの場合

第6図







第7図

ドロップ――それも、左右いずれかのサイドライン沿いに――を打たれた場合です。

そして、そのドロップが、フォアハンド側前方の、広いオープン・スペースに落ちて来たような時は、えてして右足を前方に踏み出したい誘惑にかられるものです。

この方法がいい、という人もいますが、私たちは反対です。間違った足の位置どり――フォアハンドの場合に右足を前に――からは、安定した正確なショットは生まれません。フットワークが間違っているために、上半身が正しい姿勢をとれなければ、ストロークの効果がそこなわれるのは当然です。

スイングが違ったものとなり打球が甘くなり、パワーと正確さが失われます。これこそ相手の思うツボです。

体の右側に来たストロークを処理する時に、右足を前に出せと教える人が、悲しいかな、驚くほど多いのですが、彼らは、この方が、より早くシャトルに追いつけて、時間の節約になると考えています。[注4]

けれども、足の運びは練習によって本能的なレベルにまで高めることができるので、要は、シャトルをとらえるのに、時間的余裕を持てるようになるのです。シャトルを正しくとらえようとして、左足前になれば、結局は、一連のショットを支配し、機に応じて必要な球を、きわめて正確に繰り出すことが出来るようになります。

打球を選択できるほどになれば、拾うタイミングに余裕も出るのです。もっと気を楽にし、コントロールと正しい打法を身につけましょう。そして、選択の余地が大きく残されているうちに、シャトルをとらえるようにしましょう。

さて、次はランジング（大きなステップの片足踏み出し）の練習です。このフットワークは体のバランスをうまく保つのにとても重要なものです。

踏み出した足（左）のヒザを深く曲げ、同時に後足の足首を伸ばす。これを十分にやればやるほど、リーチが広がります。どんなショットにも一足で届き打球後は、踏み出した足をひと戻しするだけで〝基地〟に帰られるよう、がんばりましょう。

もし、この動作がうまくできない場合は、十分な踏み込みが足りないわけですから、考えねばなりません。時には、リーチの外にドロップが落ちてしまい拾えないことがあります。これを軽く見過ごさないで下さい。次の機会には、必ずとれるように、踏み出しを研究しましょう。

大人なら、たいていのドロップは、大きい一歩の踏み出しでとれるはずです。ただし、ネット際の両コーナーぎりぎりに落とされた名人芸のショットを返す場合だけは例外です。ランジングする前に、一歩の予備ステップが必要だと思います。

すべて、ショットは正しく学ばねばなりません。あらゆるシャトルを、オーバーヘッドでとらえるように、がんばるべきです。しかし、間に合わずに打点が低く落ちた場合にも、庭球のドライブ（フォアハンドで、地面に平行ち打たれる）のように打ち返してはなりません。

ヒザをかがめ、シャトルをできるだけ体より高いところでとるか、逆にもう少し打点を落とし、落下点に走り込み、体を回して、通常のアンダーアーム・ストロークで打ち返すようにしなさい。

腰の高さのフォアハンドのドライブは、シングルスでは決して使われません。各種ダブルス特に混合ダブルスで目立って使われるものです。

アンダーアームでのフォアハンドは、野球の投手の下手投げに似ています。しかし、バドミントンの下手打ちの場合は、一刻も早くシャトルを受けなければなりませんから、つとめてバック・スイングを短くする必要があります。

バック・スイングが短いと、打球に与えるスピードとパンチが不足がちになります。それで手首をよくきかせ、フォロースルーも出来るだけ力強くやってこれを補います。

フォアハンドで打つ場合は、コート半分の長さぐらいの距離を打ち返せれば、まあ、結構でしょう。ゲームに上達すれば、守勢にあるとき、バックハンドでも、もっと深く返せるようになるでしょう。

親指がうまく使えれば、フォアの場合より、パワーを加えることが容易です。上半身もスイングの邪魔にならず、フォロースルーの最後も、相手がすばやい返球をしてきた場合、とっさにうまく対応できる位置どりになります。

基本的なことが身についたら応用を勉強し、状況判断によって適切なショットを選択できるようにします。しかし、すべてストロークはインパクトの直前までは、原則どおりに行われねばなりません。

ドロップ・ショットを打たれた場合の返球

相手がドロップを打ってきた場合、返球の手段は原則として二つあります。こちらも、ドロップで切り返すか、クリアーを打ち上げるか、です。

オーバーヘッド・フォアハンドの場合と同じく、アンダーアームで打球する場合も、しっかりと安定して、最初から最後まで、一連の動作がなめらかに流れなければなりません。クリアーを打つ時は、ドロップ・ショットの時よりも、スイングを強くしっかり打つ必要があります。

シャトルがネット近くへ落ちてきたとき、ドロップとクリアーのどちらを使うか決めるには、次の考え方を目安にすればよいでしょう。

自分の腕を真下に下げた時を角度0度、真上に上げた時を180度と仮定します。0度から90度までの間でシャトルを打ち返さなければならない場合は、フォアハンドのアンダーアームを使うべきです。90度から180度の場合は、オーバーヘッドで処理することを考えます。オーバーヘッドのバックスイングをし、肩を上げるか下げるかして、ショトルを打つに都合のいい高さに調節します。

ちょうど90度、腕が地面と平行に伸ばされる高さかあたりのショットの場合は、二通りの考え方ができます。攻め返すつもりなら、ヒザを曲げて背を低くして、オーバーヘッドでスイングします。一球守るも止むを得ないなら、ツマ先立ちの姿でアンダーアームのスイングを使うのです。できる限りエネルギーを無駄にせず、水平スイング（ドライブ）は打たないようにして下さい。

アンダーアーム、ドライブのどちらにも熟達したとしても、両方を使うことは止めましょう。すばやく動けるように、また、相手の次の一手をうまく読めるようになりましょう。そして、ありとあらゆるショットをオーバーヘッドで処理できるようがんばりましょう。

もちろん、それは理想にすぎません。相手のドロップがまことにすばらしく、どうしてもアンダーアームでなくては受けられないことがあります。その時は手首をきかせて、クリアーを打ち上げるか、繊細なラケットさばき、ドロップを落し返すようにします。

こういうことがあっても、なおかつ、精神的、肉体的エネルギーを残らずかき集め、オーバーヘッドで処理するストロークの割合を、90%から95%以上に高める努力をして下さい。そうすれば、あなたは世にも恐るべきプレーヤーとなり、バドミントンが面白くて、やめられなくなること受け合いです。

〈この項の注〉

（注1）ランジング（lunging）フェンシングで、相手を突くために前進する場合によく見られるフットワーク。一般的には片足（右利きの人なら左足）を大きく前に踏み出してヒザを曲げ、後足を伸ばす。野球で一塁手が捕球する場合のフォームを思い出すとわかりやすい。庭球やバドミントンでは、離れたところの低めの球をとるとき自然にこれに似たかっこうになる。動詞はlunge（大きく一歩踏み出す、突進、前進する、などの意）

（注2）シャセ（chasse）元はフランス語、ダンスで使う、速いすり足のステップ。先に出した片足に、もう一歩の足をすべるようにして寄せ、絶えず片方の足をもう一方が追いかける。ふつうのステップのように、左右の足が交互に前に出ることはない。

（注3）基地。baseという言葉を使っている。base of operations作戦基地の意味で、日本でよく使われているホームポジション（home position）と同意。

（注4）フォアハンド・サイドの球をとる場合、右足の方が球により近いから、右足を先に出した方が、より早くとれる。別の言葉でいうと、左足前の時より、右足前の時の方が、リーチが長くなる。

この章のまとめのための練習

①練習相手の人に、自分のフォア・サイド、バック・サイドへ交互にシャトルを打ってもらいます。一球ごと相手に「今度はどっち側」と声をかけてもらい、それに応じてグリップを変えるようにします（相手がバドミントンの出来ない人なら、手でシャトルを放り投げてもらう）。

少しうまく打てるようになったら、ミスしないで何球ぐらい打ち返せるか、カウントをとってみます。ただし、ラリー（自分の返した球をそのまま、また相手がこちらに打ち返し、自分がさらにそれを打ち返す…と同じ球を打ち続けること）をしようとはしないこと。相手が非常にうまいプレーヤーの場合は例外ですが。五、六個シャトルを用意し、一打ごと、次々にそれを投げてもらいます。

②スローイング（上手投げで放り投げる）と手首のきかせ方の練習をします。シャトルを手に持って、コートのT字形地点（ショートサービス・ラインと左右二つのサービスコートを分ける中央ラインの合わさる所＝第8図のX点、Y点）に立ちます。

そこからシャトルを相手コートの六つの地点（適当に定める）にシャトルを投げつけます。一つ一つのマトは30センチ四方ぐらいのボール紙で作ります。フォロースルーの軌道が、マトに向かって真っすぐに描かれているかどうか、確かめて下さい。ちゃんと投げるには、かなりの力と苦労がいります。

③手首を思うように動かすために、グリップに不必要な力を入れていないかどうか、点検します。ラケットを握り、手首をぐるっと回して、ラケット・ヘッドで円をかきます。うまくできないようでしたら、できるまでグリップをゆるめます。

のちのち、この握りの感触はデリケートなネット・ショットをやる場合に、重要な意味を持ってきます。

④前方への片足踏み出しの練習。大股に一歩動けば届く範囲の頭上にシャトルを投げ上げてもらいます。片側のコートに二人で入り、トラムライン（単複両サービス・コートのサイドラインにはさまれた細長い部分）の一方に自分が、もう一方に相手が立って、いまいった練習をやります。相手にはセンターラインに向かって投げてもらいます。

最初は、大きく一歩踏み出して、落ちてくるシャトルを、ただ受けるだけにします。慣れてきたら、手首を動かせることを覚え、相手の所へ、やわらかく返球してあげます。

あとでは、ネットをはさんで相手に、スピードの遅い、低いドロップを打ち返します。

練習相手の人が点検すること

①前記、練習①では、相手の〝生徒〟が、ストロークに応じて、フォア→バック→フォアとグリップを変えているかどうかを調べます。次のシャトルを投げてやる前に、生徒がグリップを変えたらどうか、十分に見る余地があるはずです。

②シャトル投げの練習のさい生徒の左肩が、マトの方に正しく向いているかどうかをチェックして下さい。そのほか、後足から前足への体重の移動、腰の回転、仕上げのフォロースルーが、きちんと行われているかどうかを見ます。

深い球を投げる時は、投げ終わりの時点で、体のバランスを保つため、後足（右足）を前に振り出す必要があります（第1章の第1図参照）。

③ランジングの練習で、フットワークが正しく行われているかどうか注意して下さい（右利きの人は左足を前）。前方に踏み出した足のヒザが十分に曲げられているか確かめましょう。背筋を伸ばさず、まるめたように上半身を曲げた場合（正しくない姿勢）は、おしりが上を向くので、すぐわかります。

ネットプレーのための練習

ネットプレーを覚える前段階として、次のようなことをやります。すなわち、静止して、または、ゆっくりコートの周りを移動しながら、アンダーアーム[注1]で、シャトルを打ち上げるのです。

静止したままで、何発ぐらい打ち続けられますか。これはコントロールが要求されるので、動いて打つ時よりも難かしいものです。この練習を、グリップに気をつけながら、フォアハンドとバックハンドで、交互にやります。勉強のために、グラフ形式でスコアをとりましょう。

次の段階は初心者同士（または初心者を含む組み合わせ）のための練習です。二人でネットをはさんで、ラリーしながら同じことをやります。ただし、ただシャトルを上にあげるのではなく、少し前方に向けて、押し出すようにします。手首を使い、グリップから余分な力を抜きましょう。

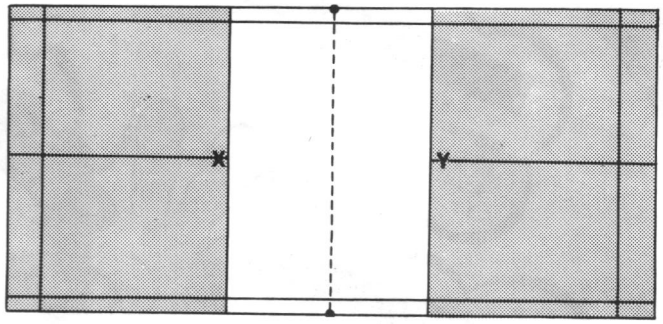
次は、もっと軽く打ち、短いフライトで前方に落ちるように簡単なゲームをやります。二人とも、ショートサービス・ラインから前方だけを使い、打ち合って、卓球のように一方が21点取ったら勝ちにします。

プレーヤーは第8図のX、Y地点に立ち、ショートサービスでゲームを始めます。すべてのショットはアンダーアームで処理しなければならず、シャトルは、前述した前陣コート外に出ればラリーに負けます。

これは、初心者にとってはすばらしい練習です。もちろん、上級プレーヤーにとっても、役に立ちます。

練習相手が点検すること

〝生徒〟がグリップを正しく握り変えているかどうか注意して下さい。ショートサービス・ラインから前には、片足しか出さないようにして下さい。だまっていると、知らず知らずのうちに、ネットに近づいて来てしまうものです。



第8図

〈この項の注〉

（注1）この練習では、アンダーアームで打つとはいっても、打点がどの辺か（うんと低い球を打つのか、そうでないのか）、また、どのくらい大きなスイングで、どのくらいまで打ち上げるというのか――は著者は全く触れていない。しかし、この項がネットプレーへの導入部であり、また、バックハンドでも打て、といっていること、などから考えると、多分、バックスイングをしない〝羽根つき〟式の軽打に近いものであろう。

（つづく）

おなじみ 年に一度の 特別謝恩セール

9月28日(木)～10月1日(日)

またまたやってきました！ごひいきありがとうの心をこめて年に一度の恒例「特別謝恩セール」。今年もビッグに登場!!バーゲンやらスピードくじやら——もうお祭りみたいな楽しさでいっぱい。友だち誘って早目にくりこもう——！



★お楽しみスピードくじ

空くじなし。何が当るかお楽しみ！期間中3,000円以上お買上げの方に一枚。外国たばこシリーズのオリジナルラケットカバーか、300円から1,000円までの金券が当ります。あなたはツイてるかなな？

※なお、特別割引品・バーゲン品・ボール・シャトルは対象外とさせていただきます。

★超特価大奉仕バーゲン・コーナー

テニス・バドミントン用品をズラリと品揃え。値段を見てきたビックリの超特価！

一例
- ●ウオームアップスーツ上下¥9,800(メーカー希望小売価格)→¥2,200
- ●硬式ラケット ¥15,000(メーカー希望小売価格)→¥3,000
- ●クラリーノ・テニスシューズ(合成皮革・ウレタン底) ¥5,600(メーカー希望小売価格)→¥3,200

これはほんの一例。お好みの品をじっくりお選びください……目移りして困るかなな。

※なお、限定奉仕のため品切れが考えられます。そのときはご容赦ください。

★ウインザーならではの特別割引コーナー

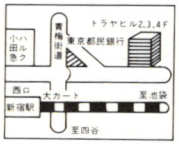
以前から欲しいと思っていた品や、まとめ買いをしたい品など……日ごろの夢がかないます。感謝の心をこめてお届けするウインザーならではの品がどれだけ安くなるかなな。

※なお、この特別割引品は期間中に限らせていただきます。

WINDSOR ウインザー ラケットショップ。

毎月曜日定休・祝祭日を除く

新宿店

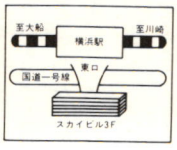


東京都新宿区西新宿7-10-20(トラヤビル2,3,4階) TEL03-363-6848 〒160

●営業時間／午前10時～午後7時30分

年中無休

横浜店

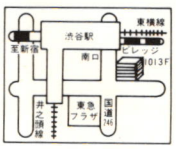


横浜市西区高島町2－1 横浜駅東口(スカイビル3階) TEL045-453-1785 〒220

●●●営業時間／午前10時～午後8時

毎月曜日定休・祝祭日を除く

渋谷店



東京都渋谷区桜ヶ丘町1-7(ビレッジ101ビル3階) TEL03-464-9251～2 〒150

●営業時間／午前10時～午後7時30分

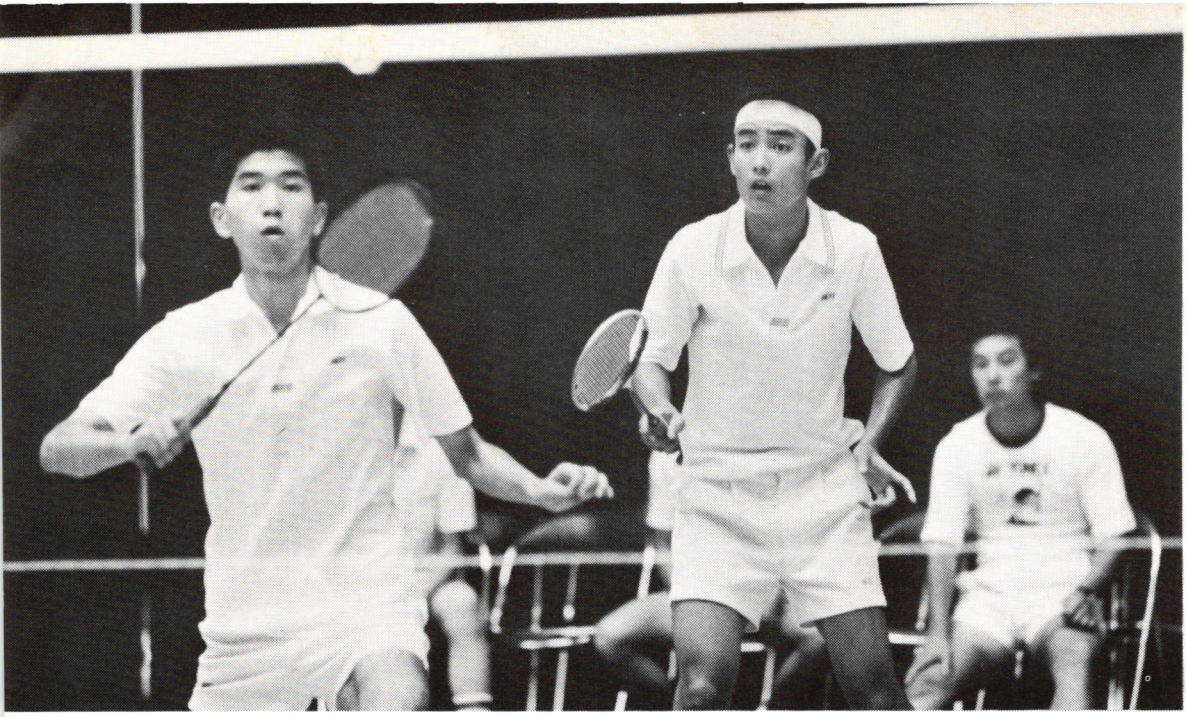


着るもよし。持つもよし。こちらヨネックス感覚。

機能をつきつめたものは美しい。ヨネックスはこの考えを基にして、たくさんのスポーツウエアをおとどけしています。白を基調に、ヨネックスのシンボルカラーであるブルー＆グリーンをアクセントにしたもの、そのほかシャレた色づかいのものなど、種類もサイズも豊富です。年齢や性別をこえ、国境をこえて、トッププレイヤー達の身をつつんでいます。またスポーツバッグにしても、細かい親切設計でデザインされています。同じ型でありながら一週間用、4～5日用、1～2日用など大・中・小とそろえたり、多目的に使えるものもあったりで、選ぶ楽しさじゅうぶん。色は白が中心ですが、濃緑、濃紺、茶などいろいろあります。さて、スポーツシューズもヨネックスの自慢。靴底が機能的な設計ですから、フットワークが生きてきます。スポーツをサイエンスの目でとらえ、そして美しい形を仕上げる芸当。これぞヨネックス感覚です。

YONEX®

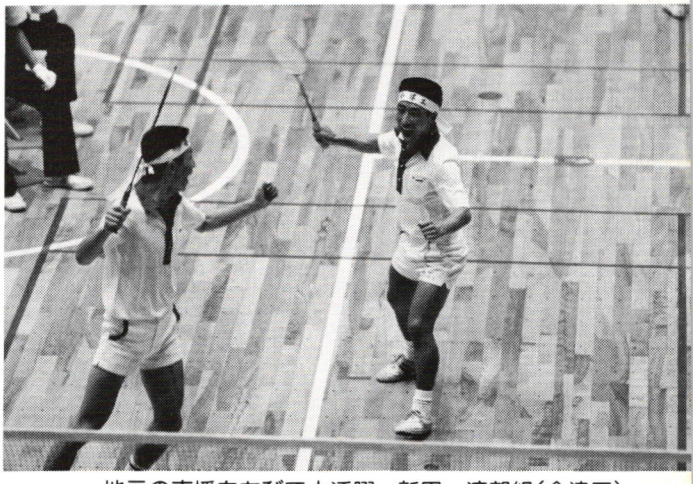
九州学院チームワークの栄冠



優勝に大きく貢献した田中・村上組(九州学院)

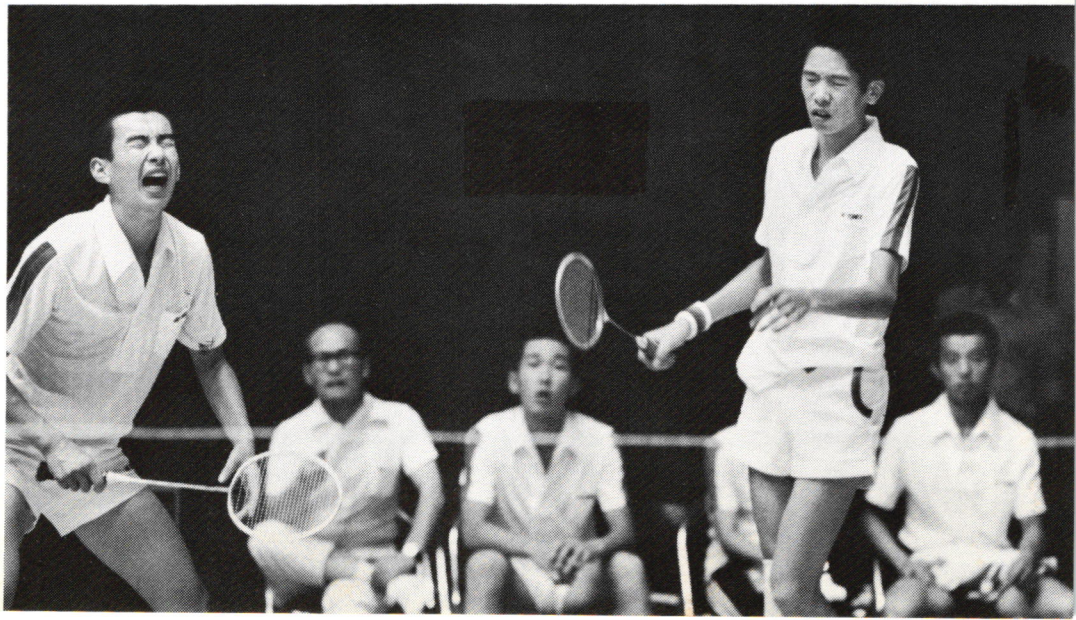


決勝前の緊張した一瞬

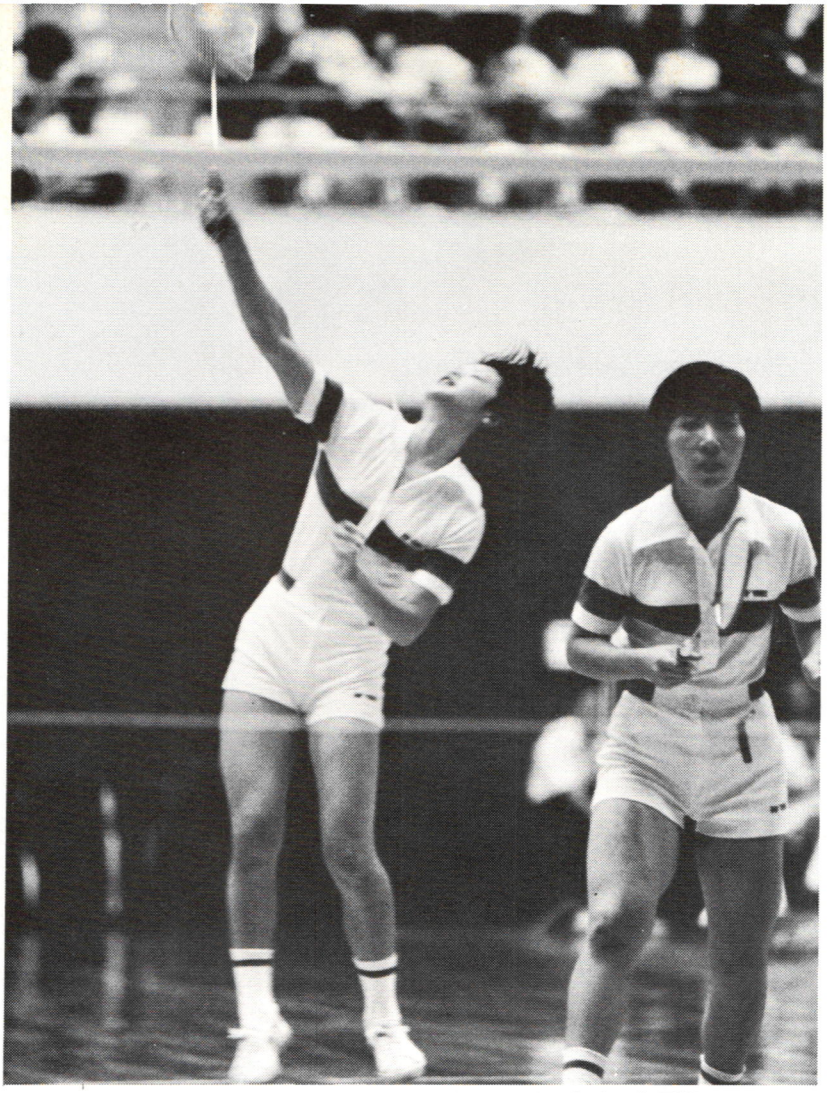


地元の声援をあびて大活躍。新田・渡部組(会津工)

センターを割られ〝しまった〟。五十嵐・須貝組(日大山形)

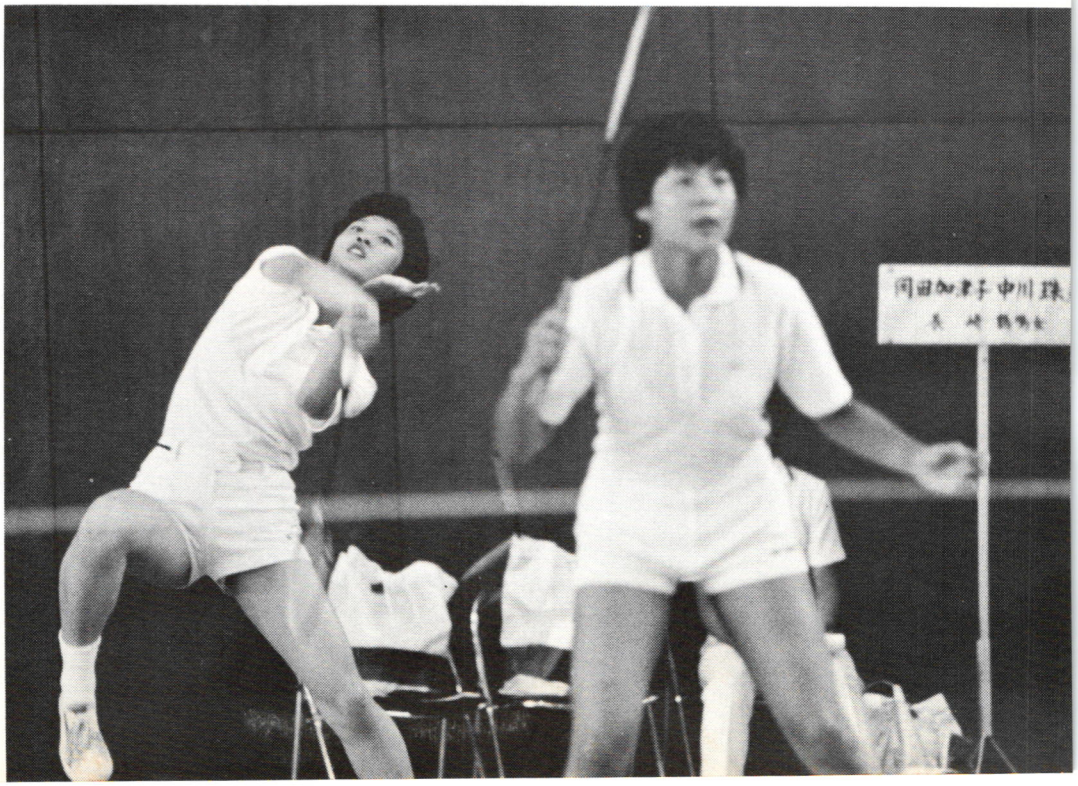


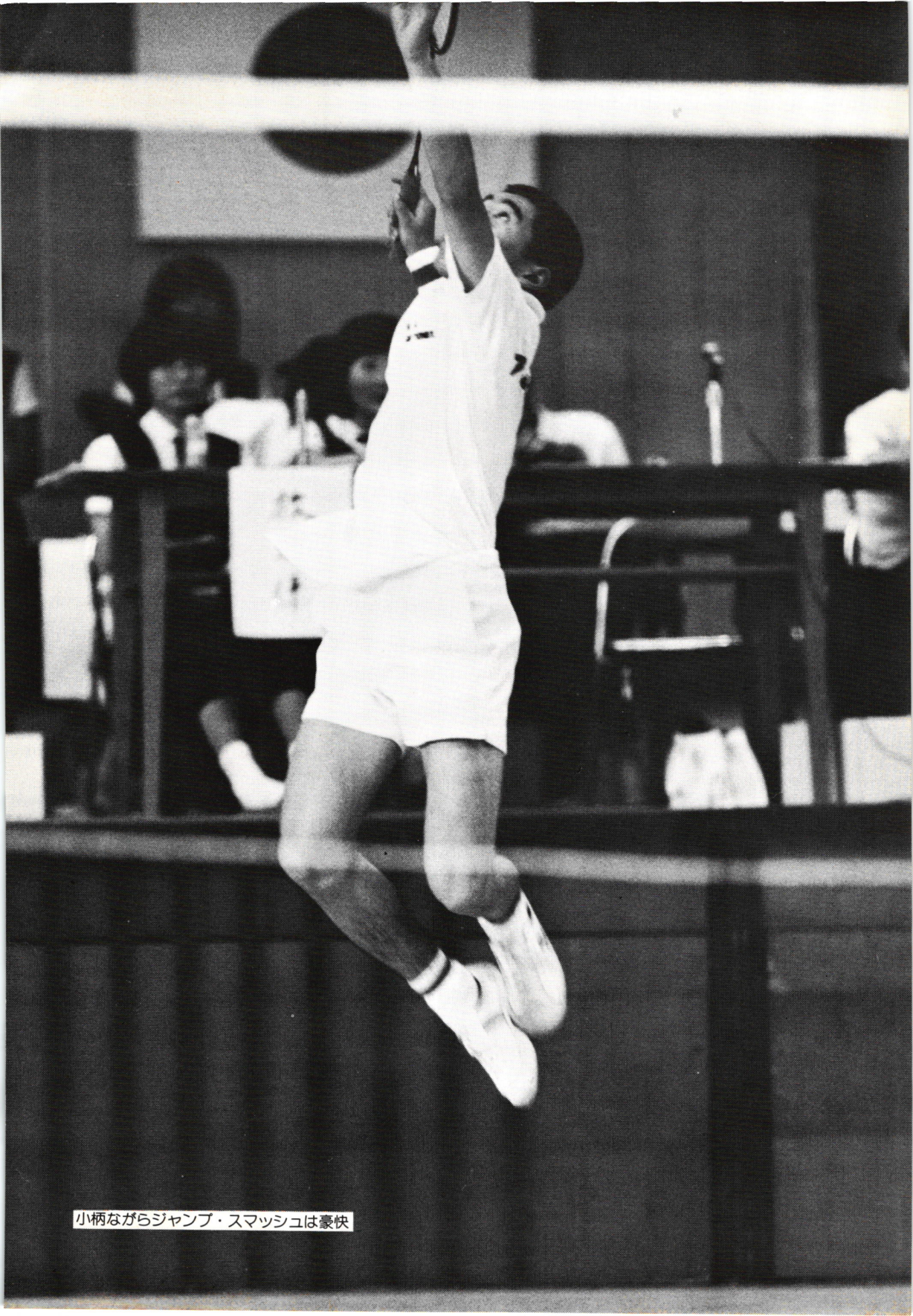
四条畷学園強し!!



またしても三冠を達成した四条畷コンビ。合川・北田組

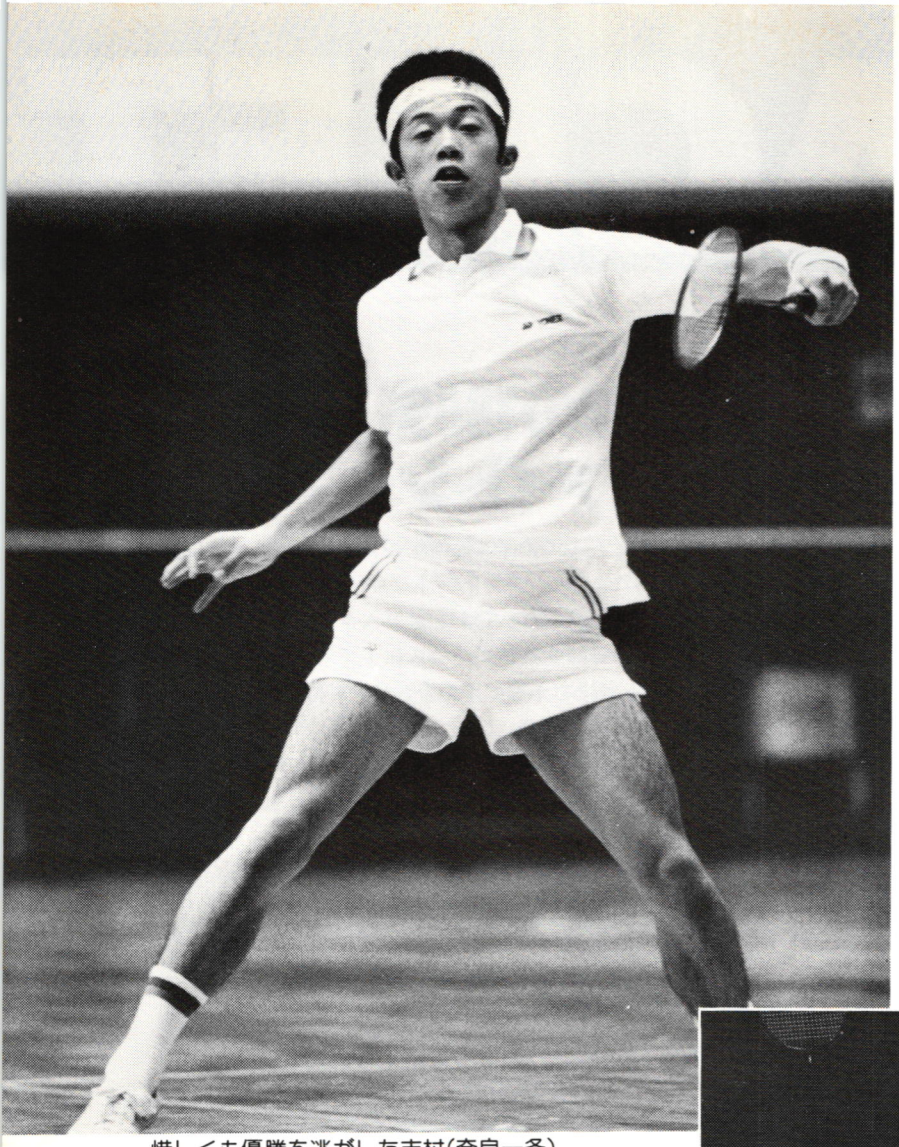
長崎鶴鳴もベスト８入りを果たした。岡田・中川組





小柄ながらジャンプ・スマッシュは豪快

小さな大選手・権藤（九州学院）



惜しくも優勝を逃がした吉村（奈良一条）

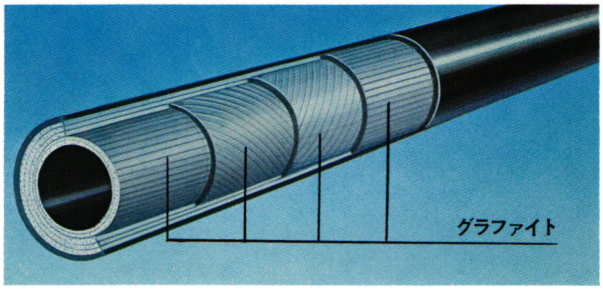
一球ごとのガッツ・ポーズが印象的



E RACKET

世界初の100%
グラファイトシャフト

画期的なものを生むためには冒険が必要です。B－82・B-80もこの例にもれません。グラファイトファイバー繊維は異方性にとむ性質で、配列しだいでは性能が大きく変わります。カワサキはこの難問を独特のクロス加工で解消。方向の異なるグラファイト繊維を4層に重ね合わせ、素材のもつ特性を最大限に引き出しました。これこそ世界が待ち望んでいた理想のラケット。スチールパイプにカーボンをまきつけただけというラケットとは威力が違います。この完成度の高さはカワサキならではのもの。



kawasaki
河崎ラケット工業株式会社

AFT

B-82

グラファイトシャフト アルミフレーム シルバー(ケース付)
フレーム価格8,000円 ガット張り上り価格8,700円

B-80

グラファイトシャフト ウッドフレーム 黒(ケース付)
フレーム価格7,700円 ガット張り上り価格8,400円

GRAPHIT



スイートスポットの広さがちがう

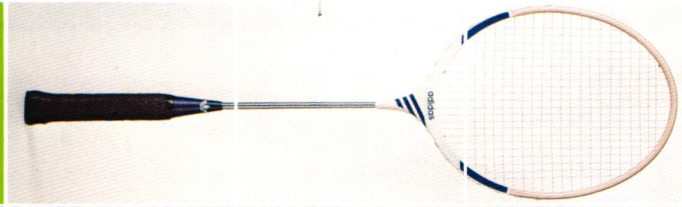
ALL GRAPHITE SH

ライバルを沈めろ。
adidas®、破壊的なパワーで絶賛。

トッププレーヤー対象

MODEL-FB1000 ¥5,400〔ケース付・ガット別〕

⊙テーパードシャフト：先細、手元太でロングなシャフト⊙フレーム：柔軟性と剛性を両立させた高級合板製⊙グリップ：手にしっくりと馴染む高質牛皮■グリップサイズ・G2(太)G3(中)G4(細)■重量〔ガットなし〕L(120g以下)M(130g以下)H(130gを超すもの)

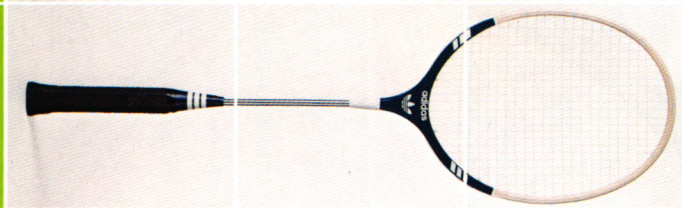


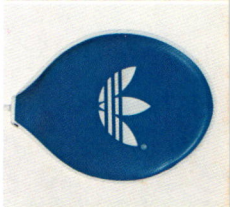


プレーヤー＆一般対象

MODEL-FB2000 ¥3,400〔ケース・ガット付〕

⊙ストレートスティールシャフト⊙フレーム：やはり強度としなりを兼ねそなえた合板フレーム。吟味された高級材質の堅牢性がラケットの変形を防ぎます。⊙グリップ：牛皮を使用し、触感・密着感にすぐれています。■グリップサイズ、G3のみ■重量、Mのみです。

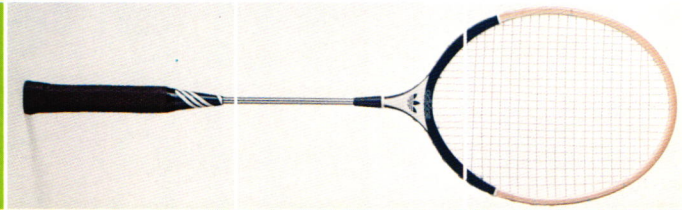




一般＆ビギナー対象

MODEL-FB3000 ¥2,500〔ガット付〕

⊙ストレートスティールシャフト⊙フレーム：丹念にセレクトされた木質素材の合板フレームで強度を確保しました。⊙グリップ：グリップには手に馴染みの良い牛皮を使用■グリップサイズG3のみ■重量、Mのみ



adidas®はどの1本をとっても素材が生きている。と、これは定説です。素材の持ち味。その良さを100%引き出す……技術陣にかせられたこの大きな難題に応えるものは独自のテクノロジーとバトミントンそのものへの情熱です。ラケットとは何かの原点から始まった形、構造への徹底追求。そして「いままでのモノは、ここがこう満足できない。で、こうして欲しい。」という現役トップの熱望…。すべて組みこみました。くまなく改良しました。バランスの良さ。なじむグリップ。この軽さ。いま、最新鋭の**adidas®**、いち早く使いこなすのがライバルを泣かす秘訣……とか。

adidas® **®**

MADE UNDER ADIDAS LICENCE

The all-sports people

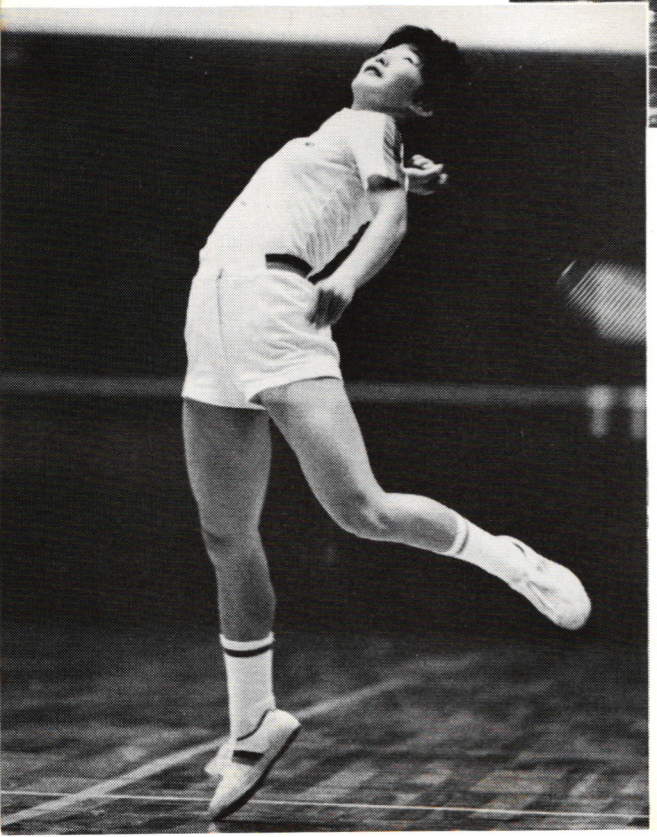
●お求めは**adidas**特約店で　製造業者〈KG〉兼松江商株式会社　発売元〈KBG〉兼松スポーツ用品株式会社　〒532 大阪市淀川区木川東2-5-3 ☎06-305-1431　〒101 東京都千代田区内神田1-11-13(橋本ビル) ☎03-295-5611

大型新人・北田（四条畷）



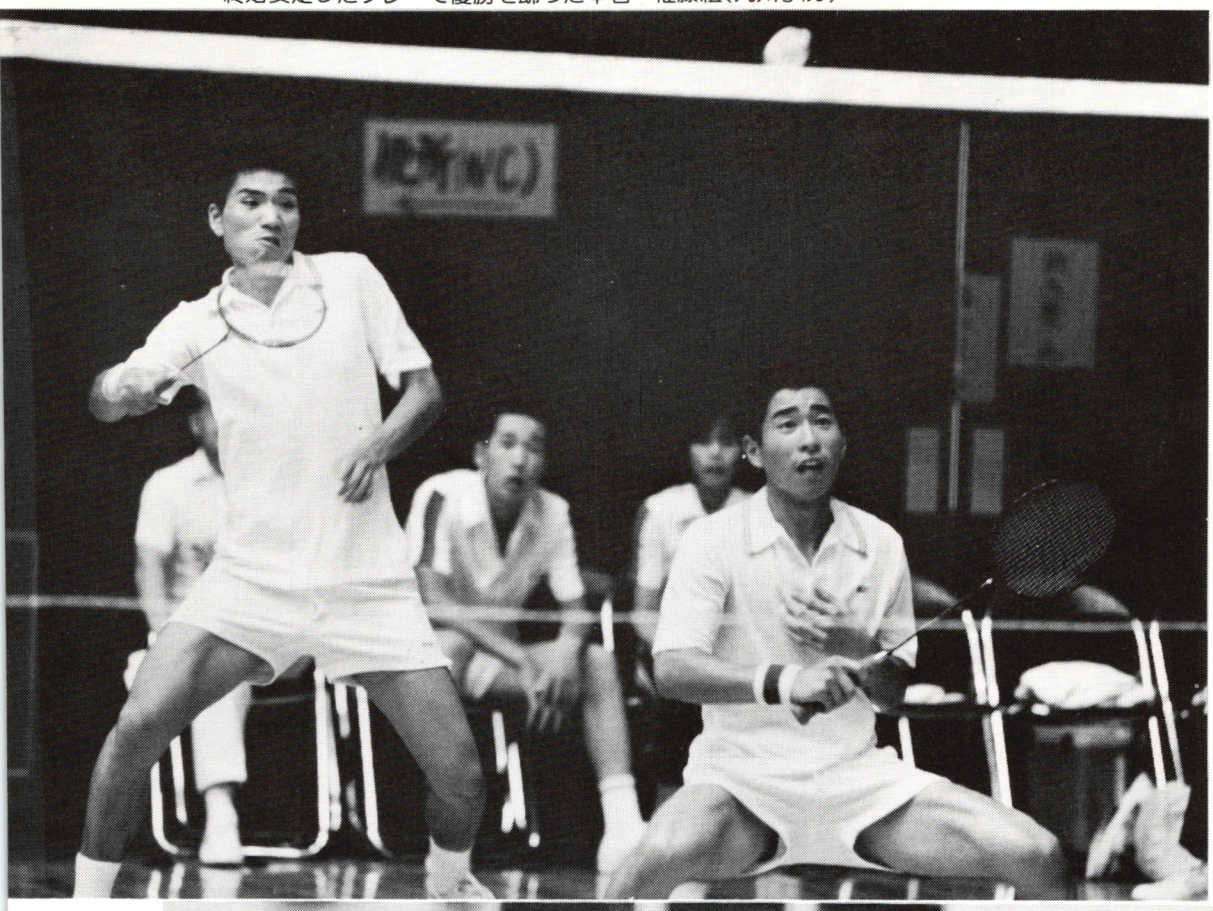
久しぶりの大型選手登場。北田（四条畷）

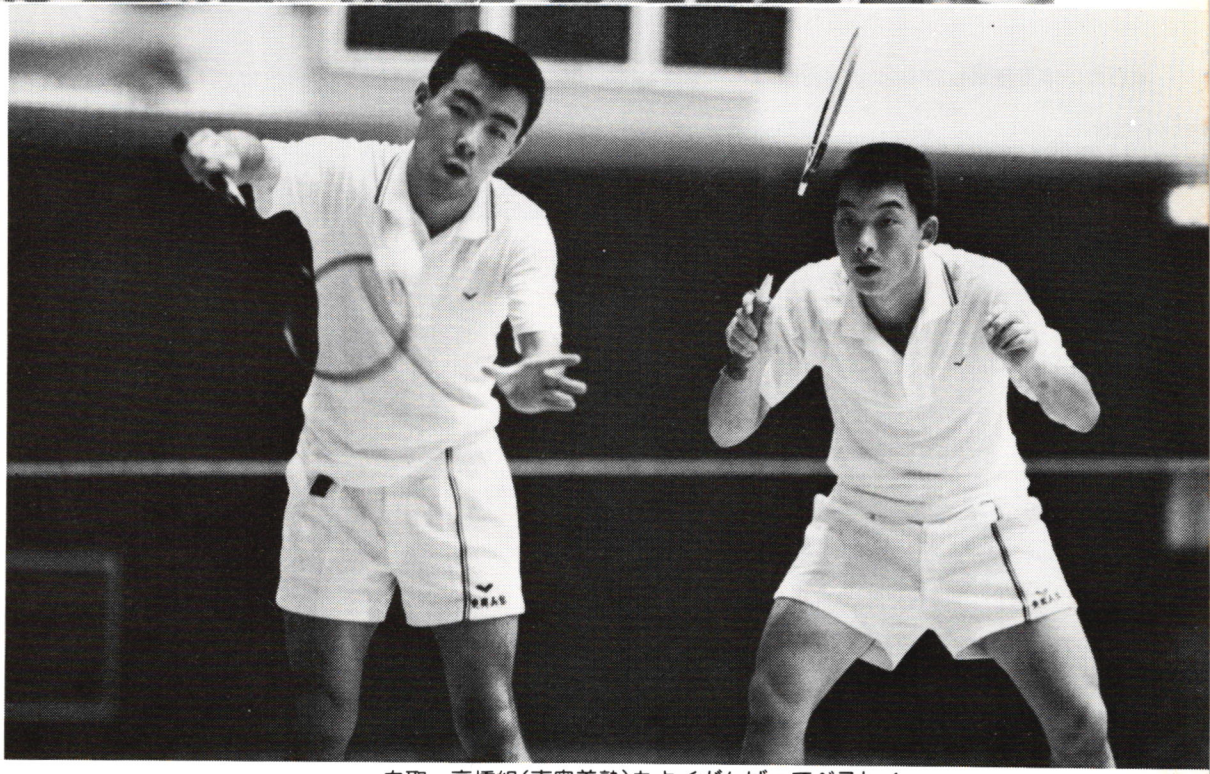
柔らかい体で善戦した中沢（新潟青陵）



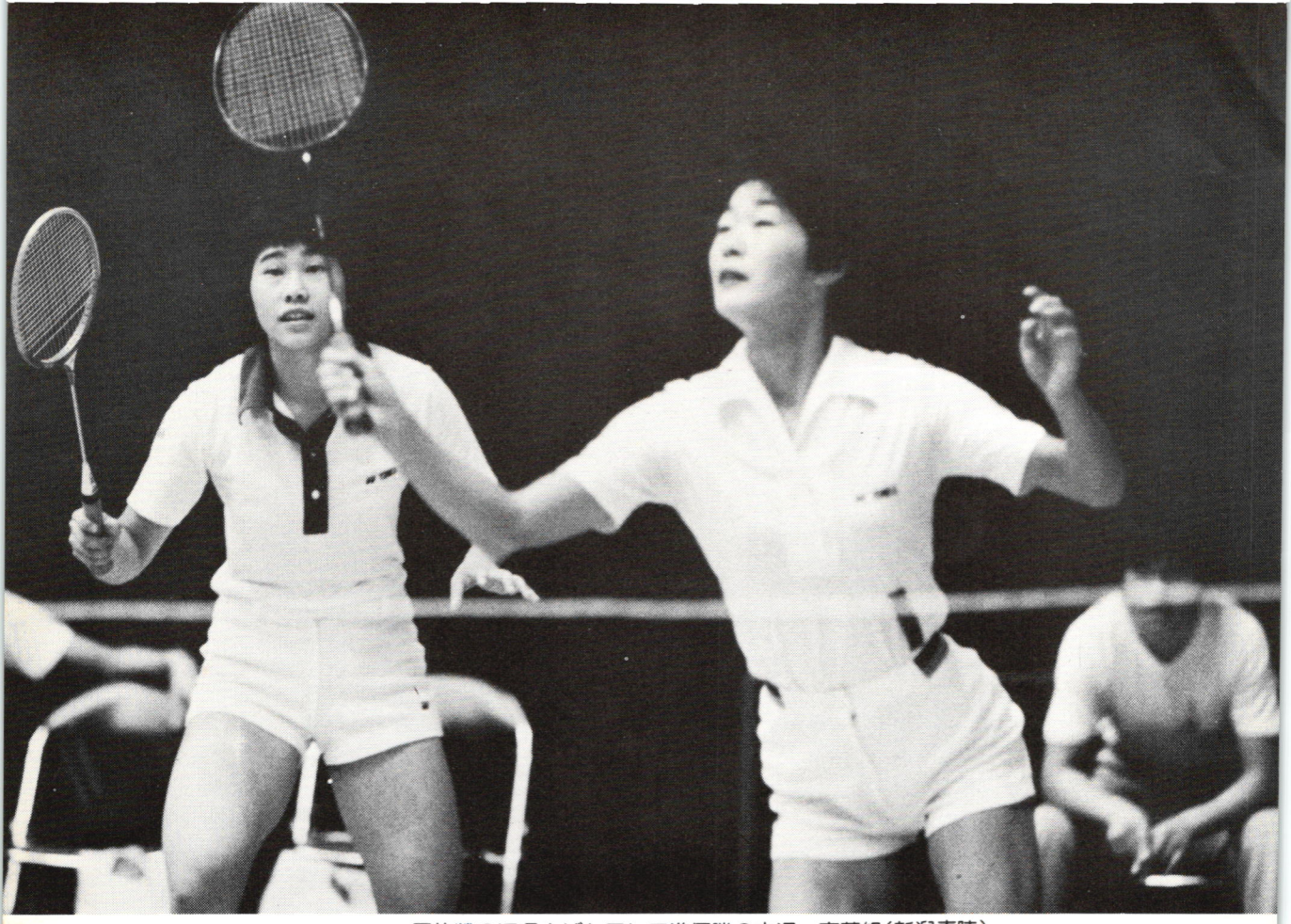
九州学院三冠を達成

終始安定したプレーで優勝を飾った本石・権藤組(九州学院)



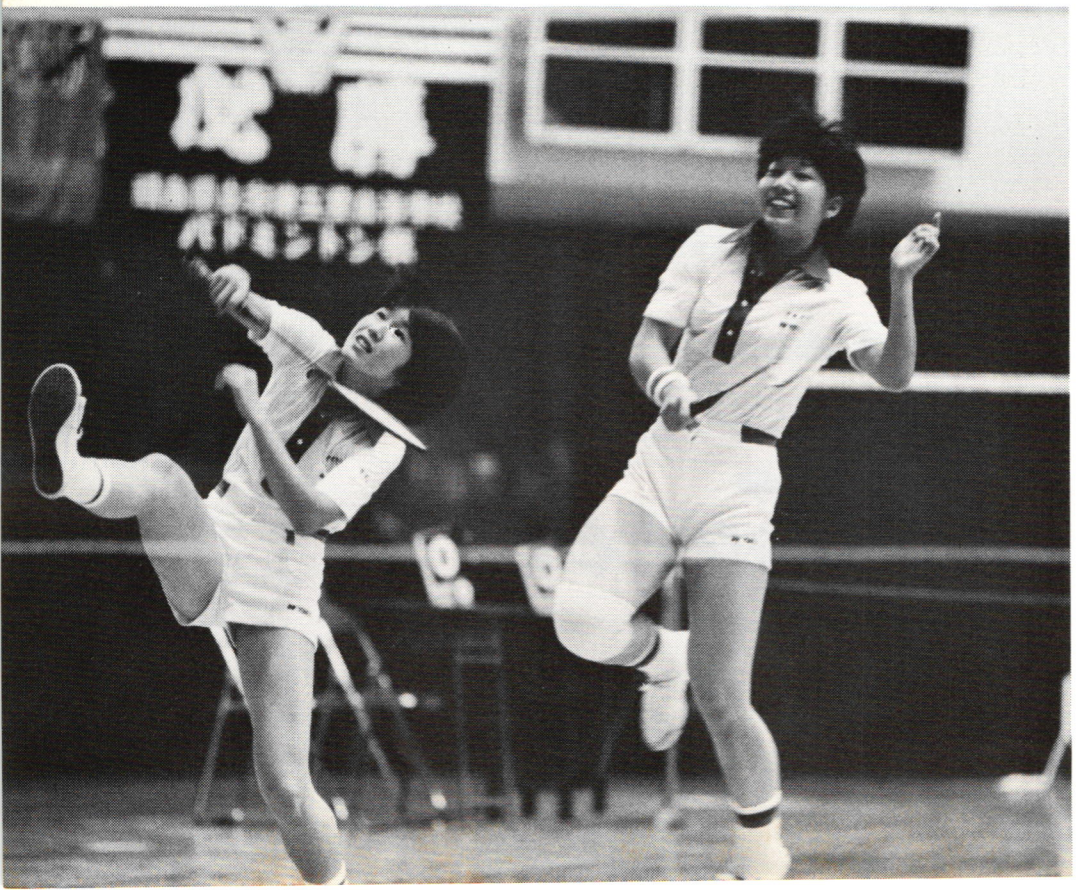


白取・高橋組(東奥義塾)もよくがんばってベスト4



団体戦の汚名をばん回して準優勝の中沢・斉藤組(新潟青陵)

新興勢力の勢いを示した川添・高峰(和)組(熊本中央女)



四条畷も敵なしの三冠王

詳細記録等は次号に掲載します



竹の特性を生かした話題のバンブーラケット。ハイ・トーマス

No. B45 ハイ・トーマス ¥4,800　★最高級選手用ロングテーパーシャフト フレーム・カバー付

竹製なればこそ発揮できる威力がバドミントンのプレーに適した材質の特性であることに着目して、その研究成果を集積した、バンブーラケット〈ハイ・トーマス〉。竹と木の合板による強靭なフレームと細くて長いテーパーシャフトによる抜群の反撥力と反撥音。薄いフレームに竹独特の強さとしなりがシャープな振りと動きを可能にします。ガット張りによるラケットの変形が起らなく、ソフトグリップが手に良くなじみます。

日本バドミントン協会推奨

球ばなれの早い極限の0.75㎜。新発売。

HY-SHEEP Super

ハイ・シープ・スーパー



超強力（ナイロン）糸の使用により、インパクト時の摩擦による、ガット切れは解消。細いゲージ（0.75㎜）が球ばなれを早くし、また風による抵抗が少ない為、シャープな振りを生む。打った時の確かな手応えは長期間の使用にもゆるみがなく、常に鋭い反撥力。

温度・湿気などに変質しない優れた耐久性は限界を知らない技術の結晶。張り上げがスムーズで色合いも他に類のない、ラケットとのトータルカラー。常に追求を緩めないゴーセンの技術陣が作りあげた、まさに超スーパー級のガットです。

高級トーナメント用〈オレンジ〉¥500

株式会社ゴーセン

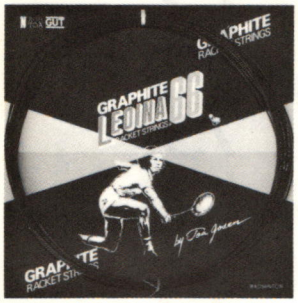
■本社●〒540 大阪市東区豊後町4☎(06)942-5816 代　■東京支店●〒111 東京都台東区蔵前4-14-2☎(03)862-6576 代　■福岡営業所●〒810 福岡市中央区薬院1-4-8☎(092)712-5247 代　■北陸営業所●〒921 石川県金沢市横川7-22☎(0762)47-0200 代



世界のトーアが贈る
バドミントンガットシリーズ



レオイナ　ホーン
LEOINA HORN S



グラファイト　レオイナ
GRAPHITE LEOINA 66



レオイナ　シープ
LEOINA SHEEP 66



トーア　ストリングス
TOA-STRINGS SSW



トーア　ストリングス
TOA-STRINGS SSW

東亜合繊株式会社

〒658 神戸市東灘区本山中町4丁目7番5号
電話 神戸 078 (441) 2001(代)～5番

エッコのバドミントンライフ

⑬栂野尾悦子

心も体も宙に浮いた全英選手権優勝

一九七〇年三月、ヨーロッパ初遠征の緒戦は、デンマークオープン選手権で幕を明けたのです。コペンハーゲン郊外にあるK・Bホールは横に5面取ってあるバドミントン専用体育館で、コートから5～6メートルの所から観客席があるので、熱戦がそのまま肌で感じられ、家庭的ななごやかささえあって、とても親しみやすいのです。夕方近くになってくると、静かなたたずまいのあちこちから、一刻も早く試合を見たいかのようにソワソワと観客が集まってきます。

主審はデンマーク語でコールしますが、カウント板があるので安心。ところが、そのカウント板を、ジュニアの豆プレーヤー達が動かしているのです。日本では考えられない事ですが、ヨチヨチ歩きの頃からシャトルを追っているこの国では、国際大会であろうと安心して任せているようです。

さて、初舞台の私のできはというと、一回戦はどんなに小さな大会でもドキドキ緊張してしまうのですが、案の定、もたもたしながらどうにか勝ち、ようやく試合が始まった気分になったものです。そのうちに、シングルスで高木さん（現中山夫人）と対戦することになり、二年前のオールジャパンで完敗して以来のことです。どちらが粘り勝つか、やれる所までやってみようと決心してコートに入ったのです。1ゲーム目から長いラリーが続き、1本取るのに、何回もサービスオーバーをくり返します。いよいよファイナルにもつれこみ、高木さんの配球はますます鋭く、的確にコーナーをついてきます。『このままつきあっていては、前の二の舞いを踏んでしまう。どうにか一本でも多くスマッシュを使って攻めていかなければ……』。そう気合いを入れ直して攻め始めたのです。ファイナルなだけに、スマッシュの威力は衰えています。しかし、ここで打っていかねば勝てないと自分に言いきかせ、尻をたたきながらラケットを振ったのです。私の粘り勝ちです。ベンチに戻り、ドッカと腰をおろした時、両足の大腿筋がふるえているように思えました。

大会中、ハプニングが起こりました。全英二連勝を狙った湯木さんがアキレス腱を切断してしまったのです。この瞬間、日本選手団の心に何か不安がよぎったのです。

シングルスは、スウェーデンのエヴァ・ツエドベリ。ダブルスは高木、天野組です。全英チャンピオンの他、数々のタイトルを持っているエヴァは、ぎこちないフォームなのに、女子ヨーロッパ選手に見られる足腰の不安定さなど全く感じさせないフットワークで、一本一本のタイミングを変化させる巧みな技を持ち、力だけで押しきる単調な私は、ネット前の変化にタイミングをはずされて、軽く2―0で負けてしまったのです。

ダブルスは日本同士。お互いに手の内をよ

く知っているだけに、完全に攻撃型と守備型に分かれ、二時間近くのゲームを展開した末ヨーロッパの地で初優勝できたのです。

本番の全英選手権を一週間後に控え、さい先のよいスタートを切ったのです。そう、秘そかに誓っていた私達の最大目標は、〝ダブルス優勝〟なのです。毎日のように言われ続けてきた世界へ、そのイギリスへ今、乗りこもうとしているのです。何ともいえない思いに胸がキューッとしまり、頭の中がブルブルッとなったのをはっきり覚えています。

全英選手権が始まる前日のレセプションへは、出場の切符を手にした各国の選手が顔をそろえます。会場のすみっこにいた私達は、キョロキョロと目を輝かせ、どんな人達がいるのか見回してみました。インドネシアのミナルニ、レトノ、スウェーデンのエヴァ、イングランドのギルクス、ベック（現ロックウッド夫人）、デンマークのウラ、カーリンの姉妹、マレーシアの試合で一緒だったデンマークのプリ、アッ!!ハルトノ。今や絶頂期といわれている、あのインドネシアの至宝ハルトノがいる。そのプレーを目の前で見れる感激に、同じコートに自分も出場することさえ一瞬忘れ、胸をおどらせたのです。でもその他の選手は全く知らない私達だったのです。

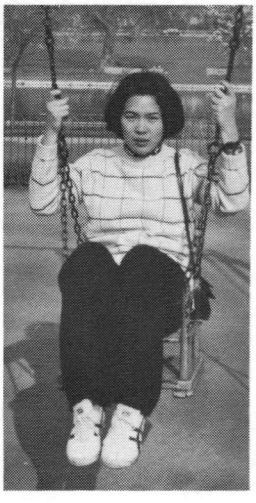
いよいよ試合開始。ウェンブレーにある、エンパイアプールの体育館は、横に7面のコートが敷かれ、天井が高すぎて、うす暗い会場に、グリーンのコートマットが鮮やかにうき出されています。なんと、観客席の一部では、食事をしながら観戦できる所もあり、さすが、大英帝国のなごりをしのばせるものがあります。

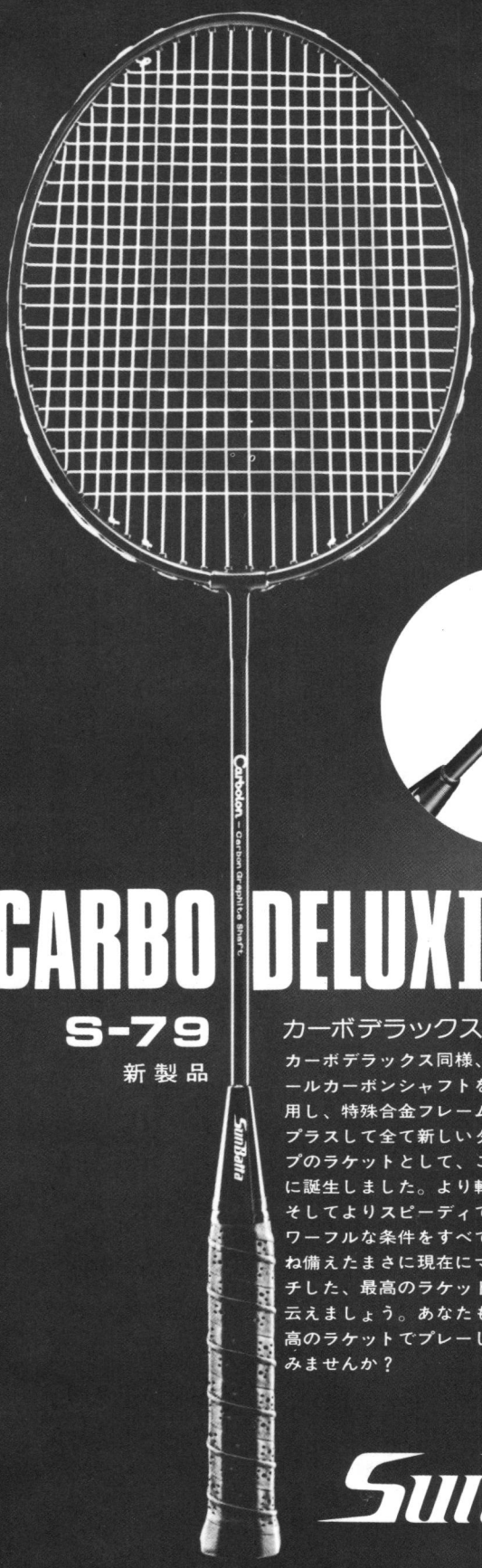
試合は順調に進み、ダブルス準決勝で、全英二連勝を狙う、ボクソール、ウェトナール組と対戦することになったのです。強打を持つサウスポーのボクソール。うまく相手の攻めをかわし、逆に沈めてチャンスを作るウェトナール。二人は何を打ってもヒョイヒョイ返してしまいます。事もなげに。あせる私達は、攻めあぐねて、11―15、10―15であっさり負けてしまったのです。この時のくやしかったことといったら一生忘れられません。なぜなら、全英が始まる二、三日前の招待試合でファイナルをして勝っていたのです。しかし、彼女達にしてみれば全英を控えた小手調べであり、ここに落とし穴があったことに気づかなかったのです。若い私達は、こんなはずじゃなかったと思いつつゲームセットのコールを聞いたのです。この時、痛い教訓を得ました。

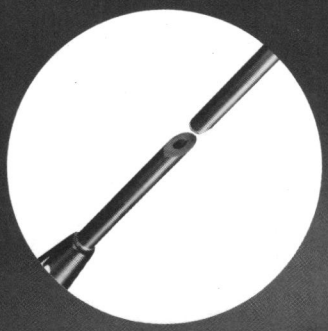
〝一度勝った相手にはもう負けてはいけない〟

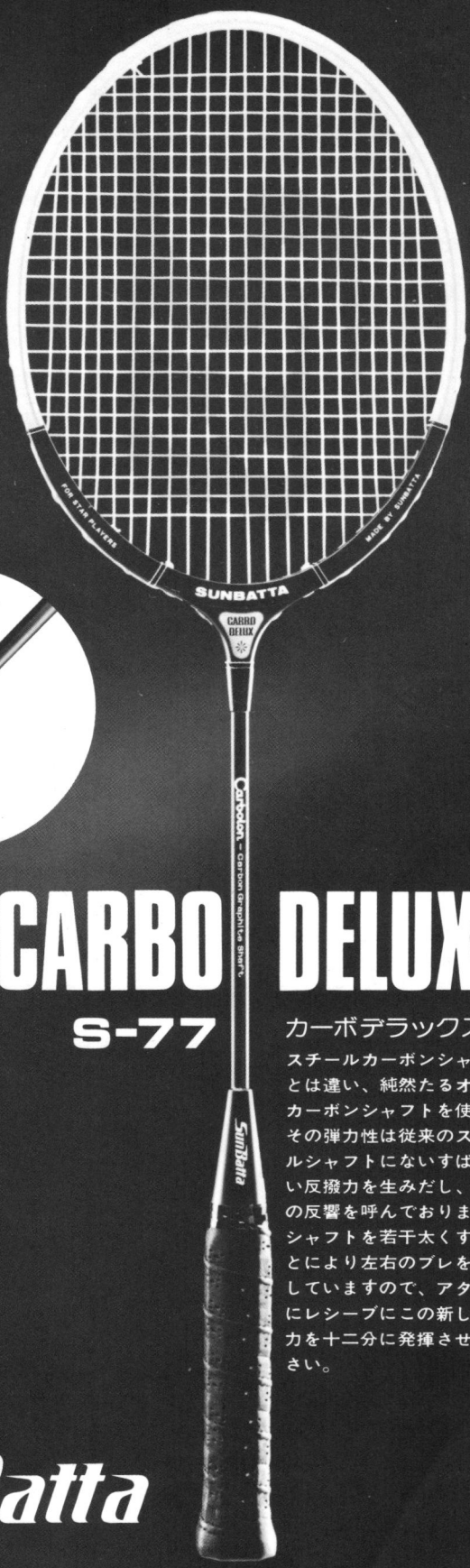
シングルス二回戦で、またもやエヴァと対戦したのです。今度は簡単に負けてはいられません。ネット前のフェイントでやられないよう、前に出た時は先手を取ってエヴァを動かすようにしたのが決め手となり、11―7、7―11、11―7のファイナルで勝てたのです。勢いづいた私は、トントン拍子で決勝に進出できたのです。

相手は、地元、イギリスのニールセン夫人。前日、高木さんも足を故障しキケンしたため、何とかタイトルをと覚悟したのですが、コートに入るとそうした事もすっかり忘れ、伸び伸びとコートを走れたのです。サーブを出すまでのわずかな時間、阿部一佳先生や、阿部孚コーチ達の声が胸に響いてきます。『次はこう攻めていけ』『ここは慎重に』と。不思議なくらいはっきりと。こんな事は、後にも先にも一回きりです。マッチポイントを取った時、本当に私が勝つのかしらと一瞬気が抜け、たづなをしめ直して優勝。カップを手にした時も、まだ心も体も宙に浮いているようでした。このあと、とっても素敵なハプニングがあったのです。汗びっしょりのニールセン夫人の所へ、彼女の坊やが、小さな両手いっぱいに花束をかかえてかけ寄っていったのです。もう一度、われるような拍手が送られたのです。ほほえましい光景は、まるで、これがスポーツ、ヨーロッパのバドミントンですといわんばかりに、今も目に焼きついています。（つづく）









CARBO DELUXⅡ

S-79

新製品

カーボデラックスⅡ

カーボデラックス同様、オールカーボンシャフトを使用し、特殊合金フレームをプラスして全て新しいタイプのラケットとして、ここに誕生しました。より軽くそしてよりスピーディでパワーフルな条件をすべて兼ね備えたまさに現在にマッチした、最高のラケットと云えましょう。あなたも最高のラケットでプレーしてみませんか？

CARBO DELUX

S-77

カーボデラックス

スチールカーボンシャフトとは違い、純然たるオールカーボンシャフトを使用。その弾力性は従来のスチールシャフトにないすばらしい反撥力を生みだし、多くの反響を呼んでおります。シャフトを若干太くすることにより左右のブレを解決していますので、アタックにレシーブにこの新しい魅力を十二分に発揮させて下さい。

SunBatta

「健康のため吸いすぎに注意しましょう」という注意が、日本専売公社によってすべての煙草の箱に印刷されるようになったのは、昭和四十七年からのことだという。喫煙が肺ガンや喉頭ガン、心臓病その他の誘因になるということは、ずい分昔から医学上で実証されているようだ。

ところでタバコの害を主題（？）とした、思いがけない芝居が一つある。その芝居の面白さを、私はここに紹介しようと思うのであって、私の主題（？）も「タバコの害」についてでなく、その芝居の面白さにあるのだ。

これは短い一幕物で、上演時間は一五～二〇分ほど。しかも、芝居としては全く例外というべきだが、登場人物はたった一人なのだ。

作者は帝政ロシアのアントン・チェーホフ（一八四一～一九〇四）である。つまり「桜の園」「かもめ」「伯父ワーニャ」「三人姉妹」などの優れた戯曲の作者なのだ。

ところで劇中たった一人の登場人物はニューヒンという中老の紳士でかなりくたびれた燕尾服姿で威厳たっぷりに登場する。この地方都市で全寮制女学校を経営する女史を妻にもつ男である。舞台はある田舎のクラブの演壇である。（つまり舞台装置はいらないのだ。）

「紳士ならびに淑女諸君。本日ここで何か有益な目的の教養講話を私にして欲しいという申し出を、家内が受けたそうであります。講話というのであれば、そういう話をすることにしましょう……どうせ、私には同じことです。もちろん私は大学教授でもありませんし、学位などというものには全く縁のない人間であります。が、それにもかかわらず、こう見えても私は、もう三十年というもの、少しの休みもなく、自分の健康をそこねるほど一心に、厳密な意味での学術論文ととりくみ、研究を続け、時には、その、学術論文さえ書いているのであります。」（原卓也氏訳）

演劇随想⑥
「タバコの害について」
放送作家　寺田太郎

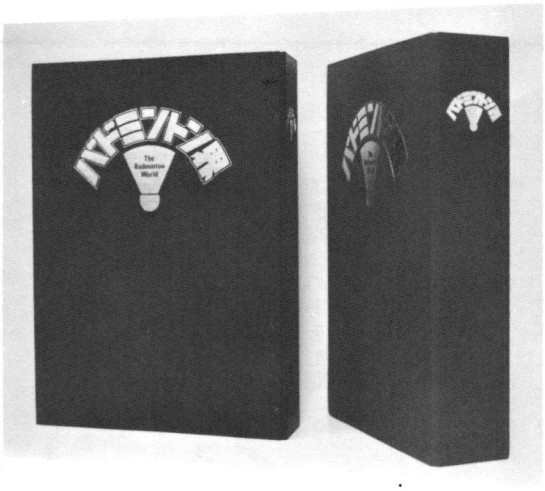
と彼は前置きして、本日の演題は、〈妻の命令〉によって「タバコの害について」としたことを宣言して語り継ぐ。

語り継ぐのではあるが、やがて脱線して行く「タバコは主として植物であります……ええ、私は、講演をしている時に、右眼をパチパチやるくせがありますが、どうか気になさらないでください。これはアガっているためなんです。私は大体がひどく神経質な人間でしてね。片眼をパチパチさせるようになったのは一八八九年九月一三日のことなんです。これは私の家内が、四番目の娘ワルワーラを生んだ日です。」……

というあたりから、脱線はとどまる処を知らぬように滑って行く。妻はかなりの財産を持っているのだが、私自身には銅貨一枚もあずけない。しかも私は寮の会計主任ほか雑用一切を勤めさせられている。愚痴はとめどもないように続いて行く。今日は残ったホットケーキを三つ余計に食べさせられた。昨夜は夕食を食べさせられなかった！　何という三十三年の夫婦生活！

「これでもかつては若々しいこともあったし、頭もよかったんです……でも今となっさや、もう何も必要ないんだ！　静かな余生のほかには……安息のほかには、何も要りませんよ！（舞台袖にちらと眼をやる）ところで、楽屋に家内が立って、私を待っています。（時計をのぞく）もう時間ですね……もし家内が何かたずねたら、お願いですから、こう言って下さいませんか。いい講演だったと。（声を張り上げて）ただ今申し上げたように、どんなことがあっても喫煙などいたすべきではないのであります。（一礼して、威厳たっぷりに退場）

この特異な優れた一幕物を、チェーホフ十七年間に、七遍も書き直しているのである。



バドミントン界専用

合本バインダー

現在品切れ
12月初め出来
予約受付中

定価・500円

穴あけ不要・かんたんに・美しく保存

「バドミントン界」は読捨ての雑誌ではありません。毎月きちんと揃えて保存すれば、バドミントンの百科事典となるものです。

そのために本誌1年分12冊を、穴をあけたり、ノリを使ったりすることなく、簡単に保存しておくことのできる専用合本バインダーができました。

今回製作したものは、表紙の新しいデザインにあわせた写真のようなシャレたものです。

表紙は濃いブルーの特殊レザーを使用し、本誌と同じデザインを銀パクで押したものです。丈夫で長い間の保存に耐えることができます。

専用合本バインダーは1冊定価500円ですので、ご希望の方は下記の送料を加えて、本誌巻末に綴じ込みの振替用紙に必要事項を明記のうえ、お近くの郵便局からお申し込みください。.

（送料1冊＝300円、3冊まで600円、4冊以上700円）

バドミントン界編集部

年間購読のおすすめ

バドミントン専門月刊誌「**バドミントン界**」は、一般の書店では販売しておりません。

購読ご希望の方は、編集部あて年間予約購読をお申し込みください。バドミントン界は一部定価300円ですが、年間予約購読をお申し込みになりますと、一年間3600円のところを3000円に割引となります。さらに日本バドミントン協会登録会員の方は、2800円となります。

お申し込み方法は簡単です。本誌巻末とじ込みの振替用紙に必要事項明記のうえ、代金をそえてお近くの郵便局からお申し込みください。毎月15日に発行と同時にお送りいたします。

購読期間は1年ごとの更新となりますので、6ヵ月や2年間といった変則的なお申し込みはご遠慮ねがいます。

また、ヨネックススポーツ、河崎ラケットの特約スポーツ店、ラケットショップ元町、ラケットショップフジ、ジャワ商会、サンスポーツ、アサヒスポーツ各店でも予約をお取り扱いしておりますので、各店にご照会ください。

⑤ "事実"はひとつか？

放送ジャーナリスト・高田正純

これまで数回にわたって、ノンフィクションの性格や書き方のノウハウを見てきたが、ノンフィクションの中で、もっとも衝撃的なのは、スッパ抜き、内幕もので、これはアメリカのジャーナリズムや出版界のもっとも得意とする分野である。

最近、これがもっともはなばなしかったケースといえば、ニクソン大統領を任期なかばの辞任に追い込んだウォーターゲート事件である。この事件について、アメリカでは文字どおり、汗牛充棟といえるほどドキュメントや手記が出版され、「ウォーターゲートもの」のブームはいまなお続いている。そこで今回は、ウォーターゲート関係のノンフィクションを例にとって、ノンフィクションの特徴を考えてみたい。

1972年6月17日未明、ワシントンのポトマック川畔のウォーターゲート・ビルの中の民主党本部の侵入犯5人が逮捕された——という、どこにでもある窃盗事件が発端だった。

これをたまたま取材した『ワシントン・ポスト』紙の若手記者2人が、ホワイトハウスとのつながりを示唆する情報をきっかけ、本格的な取材を始めた。2人とは、いまはすでに有名になった、ウッドワード、バーンスタインの両記者である。通称「ウッドスタイン」と呼ばれたこのチームは、アメリカでは異例の夜討朝駆け取材で、あいつぐスクープをものして、『ポスト』紙はニクソン政権の執ような介入をはねのけながら、事件の解明を続け、ニクソン大統領を追い込んでいった。

この経過を記録したのが、ベストセラー「大統領の陰謀」。「あのとき私は……」という一人称のスタイルでなく、冒頭から「ウッドワードは…」と、物語の語り手が第三人称として登場するというユニークな語り口で、いきなり事件の核心に向けて読者をぐいぐい引っぱっていく。

両記者の取材の方法は、アメリカのジャーナリズムでは「調査報道（インベスティガティブ・リポーティング）」と呼ばれるテクニックで、取材対象から徹底的に事実関係を洗い出し、核心をつくというものである。これは、ベトナム戦争の取材、とりわけ、米軍によるベトナム民衆の大量殺戮事件「ソンミ村の悲劇」を追跡取材した、セイモア・ハーシュ記者の取材などで有名になったものである。

『ワシントン・ポスト』紙を先頭にアメリカのマスコミが、ウォーターゲートの真相暴露合戦がはじまると、アメリカの議会でも、事件の解明のための調査や公聴会が開かれた。

以来、ウォーターゲート事件の証言は、関係者の数だけ〝真相〟の数がふえるといわれるほどになり、また核心に迫る告白や暴露があいついだ。だが一方では、芥川竜之介の小説「藪の中」にみられるような登場人物の証言のくいちがいがあいつぎ、疑惑も深まることになった。

たとえば、最近邦訳が出た「陰謀の報酬」、と「権力の終焉」というニクソン大統領の側近の手記などをみると、このことがとくにはっきりしてくる。前者はニクソン大統領の法律顧問だったジョン・ディーンが、事件の責任をとらされそうになったことを察知し、「自分はいけにえのヤギになるのはまっぴらだ」と開きなおり、自分の知る〝真実〟はこうだと告白したものである。

後者は、ニクソンの側近中の側近で、「事件の真相の90パーセントを握る」とキッシンジャーが評したH・R・ハルデマン首席補佐官が、ニクソンが辞任後、「自分はシロ」、むしろ、ハデマンが悪だったときめつけたのに猛反撥し、「ニクソンこそクロ」と告発した異色のノンフィクションである。日本でいえば、忠義な官房長官か総理大臣を弾劾するというショッキングな手記だけに、アメリカでは出版後大きな話題となった。またハルデマンとならぶ側近だったジョン・アーリックマンも、「ザ・カンパニー」というモデル小説を書いて事件を間接的に告発したが、これはNHKテレビで「権力と陰謀」というシリーズで放送されたのでご覧になった読者もいるだろう。

この他、ウォーターゲート事件は、マスコミのスッパ抜きが事件解明の原動力ではない。オニール下院内院総務（現議長）を中心とする野党の民主党の正義漢たちが、ニクソンの辞任をかちとったのだという立場から事件を追った、ユニークなルポ、ジミー・ブレズリンの「1974年弾劾の夏」など、事件関係のノンフィクションは枚挙にいとまがない。

だが、ウォーターゲートを語るには、なんといっても、事件の主役、リチャード・ニクソンの証言を抜かすわけにはいかない。今年5月に出版された「ニクソン回想録」（邦訳未刊）は、1200ページちかい大著だが、ウォーターゲート事件でのニクソンの責任についてはまったく触れられていない。退官後の政治家のメモワールに、自分に都合の悪いことが書かれるわけはないといってしまえば、それまでだが、ニクソン回想録の場合、マスコミでこれほど事件の解明がなされ、また、ニクソン氏自身が、自分の外交上の「成果」を誇示しているだけ、ウォーターゲート記述についての空白は余計目立つといわざるを得ない。

ひとしく真実の追求といっても、書き手によって、いかに〝事実〟がくいちがうものなのか。ウォーターゲートものを読みくらべてみると、事件ばかりでなく、ノンフィクション一般に理解を深めるであろう。

WORLDWIDE TOPICS

海外トピックス
友枝康子

汎アメリカ選手権でカナダ独占

第2回汎アメリカ選手権大会は、4月19日～23日、ペルーのリマで開かれ、新しいチャンピオンは、全員カナダ選手となった。

女子シングルス＝ウェンディ・クラークソン
男子シングルス＝ジャミー・マッキー
女子ダブルス＝クラークソン、ファラドウ組
男子ダブルス＝マッキー、カーター組
混合ダブルス＝ジョンソン・バックハウス組

（「ノーザンシャトル」6月号）

カナダのジュニアたち　育成プログラムほか

5月5日～6日開催されたこの大会には、80人が参加。試合は年令別に、14才以下、16才以下、19才以下の3部門に分れて行われた。

各種目3位までに羽根飾りが賞品として贈られた。スポンサーは、キャパスケイシング市レクリエーション部。

ジュニアの育成プログラム

5月末に開かれたオンタリオ・バドミントン協会総会の報告の項目の一つに挙げられているジュアの今後の育成方針をご紹介する。

昨年から考案されていた「段階」方式が、来年からよりキメ細かく実施される予定。主眼は、広い底辺に活気を与えることと、ジュニア・プレーヤー達を一歩一歩エリート・レベルまで引きあげることにある。

優秀なプレーヤー達を指名して、「A班」とし、最終的にはそこから16名のメンバーを選んで、オンタリオ代表としてジュニア全国大会に出場させる。

次に優秀な16名を「B班」として、オンタリオ・バドミントン協会が責任者となって育成にあたり、Aレベルに達するよう特訓をほどこす。

各地区単位でも、それぞれ地元のジュニア・トップ・プレーヤーのためにキャンプを開いたり、バドミントン参加者を増加させるように指導相談を受ける。企画や資金についてもOBAの協力が得られる。

政府援助の企画（キャンプや指導など）に参加の場合は、2ドルを払って、ジュニア・プレイヤー登録を行なう。ジュニアのための企画に支持を求めるため、個人宛の連絡用メイリング・リストをこれによって作ろうというもの。

（いずれも「ノーザン・シャトル」6月号より）

ヤングバーグ　国内選手権に優勝

5月はじめにエドモントンで開かれたカナダ国内選手権大会女子シングルスで、ウェンディ・クラークソンを破って、二年連続タイトルを獲得した。スコアは、12―10、9―12、12―10で、カナダの女子トップ・プレーヤー二人のレベルが互角であることを十分に示している。

4日間にわたる大会は、アルバータ大学のホッケー・リンクで行われた。ここは、8月の英連邦大会の会場にもなる予定。

男子は、ジャミー・マッキーが、二年連続シングルスで優勝、ジョン・チックを15―6、15―10で破った。チックの決勝戦出場は、一九七六年以来これで三度目。

男子ダブルスでは、パット・トライオンが、昨年十一月メキシコでの膝の故障以来始めて彼と組んだイアン・ジョンソンと共に、みごとなプレーを見せて、15―12、15―8で、ラフィ・カンチャナラフィ、スーンチャイ・オーケイアピスディ組を降し、二年連続タイトルを手にした。

ヤングバーグ、クレア・バックハウス組が女子ダブルスで優勝、20才のバックハウスにとってはじめての国内選手権のタイトルだった。

グレッグ・カーターもはじめてタイトルを手にした。混合ダブルスで、カーターとクラークソンは、ジョン・テーラーとシェリ・ボイスを、15―5、15―8で破って優勝。

（CBAニューズレター5月号より）

イングランド勢活躍

英連邦大会

8月3日から13日までエリザベス女王を迎えて、カナダのエドモントンで英連邦大会バドミントン競技会が開かれた。

この大会でイングランドは団体、男女複、混合複の4つの金メダルを獲得した。男子単はイングランド・ナンバーワンのデリク・タルボットを一蹴したインドのスター、プラカシュが、また女子単はマレーシア同士の対戦となり、シルビア・ウンがそれぞれ優勝した。

◆団体戦▽準決勝

イングランド4―1マレーシア。

カナダ4―1ニュージーランド

▽決勝

イングランド4―1カナダ

①男子ダブルス

M・トレジェット、R・スティーブンス2（15―3、15―3）0G・カーター、K・プリーストマン

②女子ダブルス

N・ペリー、A・スタット2（15―9、17―14）0J・ヤングバーグ、C・バックハウス

③女子シングルス

J・ウェブスター1（11―2、7―11、3―11）2W・クラークソン

④男子シングルス

D・タルボット2（12―15、15―5、15―11）1J・チック

⑤混合ダブルス

M・トレジェット、N・ペリー2（15―3、15―6）0L・ファブリス、J・ファラドール

▽3位決定戦

マレーシア4―1ニュージーランド

◆男子シングルス▽決勝

P・プラカシュ（インド）2（15―9、15―8）0D・タルボット（イングランド）

▽3位決定戦

R・スティーブンス（イングランド）2（15―4、15―11）0S・S・ロン（マレーシア）

◆女子シングルス▽決勝

S・ウン（マレーシア）2（11―5、11―3）0K・ラー（マレーシア）

▽3位決定戦

W・クラークソン（カナダ）2（11―4・11―3）0J・ウェブスター（イングランド）

◆男子ダブルス▽決勝

M・トレジェット、R・スティーブンス（イングランド）2（15―10、15―5）0M・F・リム、OT・ブーン（マレーシア）

▽3位決定戦

R・パーサー、B・パーサー（ニュージーランド）2（15―10、11―15、15―1）1D・タルボット・K・ジョリー（イングランド）

◆女子ダブルス▽決勝

N・ペリー、A・スタット（イングランド）2（10―15、15―5、15―12）1J・ヤングバーグ、C・バックハウス（カナダ）

▽3位決定戦

A・グリク、K・シン（インド）2（15―7、9―15、15―5）1J・ウェブスター、B・サットン（イングランド）

◆混合ダブルス▽決勝

M・トレジェット、N・ペリー（イングランド）2（15―7、15―7）0W・ギリランド、J・フロックハート（スコットランド）

▽3位決定戦

D・タルボット、B・サットン（イングランド）2（15―9、15―9）0R・パーサー、A・ブランフィールド（ニュージーランド）

ラケットがこんなに安いなんて!!

当地のFinancial Times 7月22日号（日本の日本経済新聞にあたるお固い新聞）に、〝What a racket〟と題して、破格値のバドミントン・セットのことが紹介されていた。

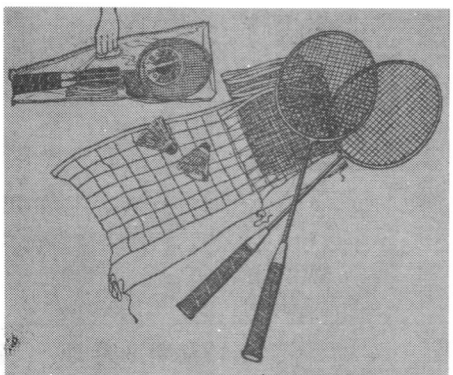
スチールラケット2本、プラスチック製のシャトルコック2個、そしてネットまでついて2ポンド49。日本円に換算して約950円というから驚く。

もちろん選手向ではなく、夏休みのスタートした子供、家族向のセットである。

やはり、こういう底辺があってこそ、伝統を誇るイギリスのバドミントン界が長く維持されていくのだろうか!?

（在ロンドン・山本洋彦）

FROM EUROPE ヨーロッパ情報



What a racket!

WOOLWORTH Stores are a marvellous source of inexpensive toys. They have always had a particularly good fishing department—their buyer seems extremely knowledgeable and though my son has not turned into much of a fisherman his first set was bought from there and it was very good value for money. As he quickly decided that it was an extremely boring pastime — the only moments he found remotely exciting were those concerned with potfuls of worms—it was a relief not to have spent too much money on over-sophisticated equipment. Similarly this badminton set is good for a holiday—it obviously won't do for the very good player but for those wanting an inexpensive, light set for packing on holiday, it seems incredible value. There are two steel framed rackets, two plastic shuttlecocks and a 10 ft practice net. It costs £2.49 from all branches of Woolworth stores.

79年版カレンダー　予約受付中

毎年好評のバドミントン・カレンダーを今年も発行いたします。79年版は読者の皆様の強いご要望により、全ページカラーとします。そして収録プレーヤーも国内選手に限定しました。

発行は11月15日の予定ですが、カラー6ページで定価1200円となります。しかし10月末日までにご予約の方々には、予約特価1000円（送料サービス）でお届けしますので、どうぞお早目にご予約下さい。予約の方法は本誌巻末とじこみの振替用紙の通信欄に、「カレンダー予約」と記入し、申込部数明記のうえ、代金を添えてお近くの郵便局からお申し込み下さい。

◆1979年版バドミントン・カレンダー

◆体裁
B3判（本誌の4倍大）、金具綴じ、表紙ともフページ、2ケ月で1ページ。

◆収録選手
男子＝銭谷欽治、飯野佳孝、土田証雄、長谷川博幸。
女子＝湯木博恵、徳田敦子、高田幹子、近藤小織、植野恵美子、米倉よし子。

◆価格
10月末日までに予約の方々は、1000円・送料サービス。それ以後は1200円・送料実費。

◆発行日（予定）
昭和53年11月15日

合本バインダーも予約受付中

現在品切れでご迷惑をおかけしています「本誌専用合本バインダー」は、12月初めに出来上る予定です。予約を受け付けておりますので、ご希望の方は、左記の送料を加えて、本誌巻末とじこみの振替用紙をご利用のうえ、お申し込み下さい。

◆バドミントン界専用合本バインダー

◆定価＝500円

◆送料＝1冊・300円、3冊まで600円、4冊以上・700円

編集室から

◆お知らせ
大会予定にありました全日本バドミントン・オールスターダブルス（9月10日・東京）は、出場選手のスケジュールが、トマス杯予選などと重なったため開催中止となりました。

大会を楽しみにお待ちいただいた皆様には、大変ご迷惑をおかけいたしました。

◆今月号では、この盛夏に開催された全国高校総体（インターハイ）、全日本教職員、全国中学、日韓高校、全日本社会人の結果などを掲載する予定でしたが、目白押しの大会に押されて編集が遅れており、今月は全国高校総体の写真を掲載するだけになってしまいました。したがってページも32ページ建てとなり、物足りない感じを強くお持ちになると思いますが、10月号は充実させてお届けいたしますのでごかんべん下さい。

◆小島一平氏著「ガッツ!!バドミントン――限りなき挑戦」はおかげさまで大変好評のようです。次号で読者の皆様の声を誌上収録する予定です。

◆毎年12月に行われている全日本総合選手権大会（オールジャパン）が、今年はアジア大会の関係で11月に開かれます。11月18日、19日に各種目決勝が行われます。会場は毎年おなじみの国立競技場代々木第二体育館です。男子は銭谷・土田・飯野そして辻の若手に、小島・今泉といったベテランがどう戦いを展開するか。女子は近藤・徳田の若手対女王湯木の争いと思われますが、ファンの皆様はいまからスケジュールをあけておいて下さい。

◆恒例のバドミントン・カレンダーが11月に発行になります。予約の数によって制作部数を決めますので、お忘れなくご予約をお願いいたします。

バドミントン界　通巻第107号　1978年9月号　定価 300円

昭和53年9月15日発行
編集人／赤星　三樹
発行人／秦　浩

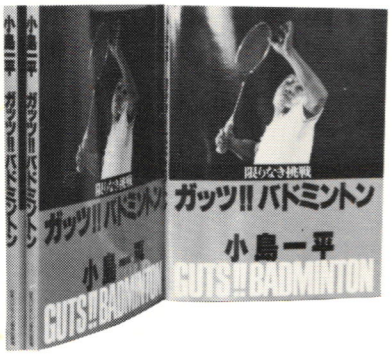
©1978　無断転載を禁ず

発行所・日本バドミントン協会
郵便番号 150 東京都渋谷区神南1－1－1　岸記念体育会館
電話　03－467－3111（代表）内線351
振替　東京5－9525（バドミントン界編集部）

小島一平著

ガッツ・バドミントン

――限りなき挑戦 定価2000円（送料240円）



- 豪華大型本：菊倍判変形（39.5cm×32.3cm）
- 総アート紙164ページ うちカラー14ページ
- 収録写真約150点 連続写真11フォーム

●本書について

小島一平氏は、全日本総合選手権（オールジャパン）男子シングルスに5連勝を含む8回の優勝、同じくダブルスに4回の優勝をとげ、個人の事実上の世界選手権ともいうべき全英選手権で、単複ともに3位、デンマーク・オープンでは単複優勝という輝かしい実績を持っています。

その160センチという小柄な体に、ファイトをみなぎらせ、あらゆるシャトルに飛びつく姿は〝ガッツ〟の異名をとった。IBF（国際バドミントン連盟）のH・A・シェーラ氏は〝まるでゴムマリのようだ〟と、そのプレーを評している。

本書は小島一平氏が、どのようにバドミントンと取り組んできたかという半生記と、技術の向上に必要なことは何かを示す実戦アドバイス、そしてライバルを語る〝わがライバルたち〟から構成されており、さらに巻末には、資料として主要大会の詳細な記録と、競技規則、審判用語を加え、非常に内容の濃いものとなっています。

判型も菊倍判変形（39.5cm×32.3cm）と週刊誌よりふた回り大きくし、全ページアート紙使用の、見る楽しさも十分にそなえたものです。本文中には、銭谷、土田、中井、長谷川の各選手をはじめわが国を代表する多くの選手、海外からもルディ・ハルトノ、スヴェン・プリ、トーマス・キールストロムといった国際舞台で活躍をしている選手をはじめ、約150点の写真を収録しています。

さらにカラー口絵14ページには、今年度の全英選手権、デンマーク・オープンの写真を中心に美しいカラーページを構成しています。



●お申込み方法は

巻末はさみ込みの振替用紙の通信欄に「ガッツ・バドミントン申込み」と書いて、部数明記のうえ、1部定価2000円に送料240円を加えて、お近くの郵便局からお申し込みください。

また、全国の有名スポーツ店でも販売しておりますので、各店にご照会ください。

月刊「バドミントン界」9月号
昭和44年12月23日第3種郵便物認可　昭和53年9月15日発行（毎月1回5日発行）通巻107号



B-9300 Carbonex3

●スリー……¥7,500（フレーム・ケース付）



B-8300 Carbonex7

●セブン……¥7,700（フレーム・ケース付）

パワー時代のラケット。先進のカーボン。

フレームにウッドと特殊アルミ合金の違いはあっても、この2本どちらも今世界のコートで大活躍中。ヨネックス独自のカーボンラケットです。カーボンシャフトのすさまじい弾性が強力なスマッシュを生み出します。そのうえスウィートスポットがぐんと広がり、シャトルをとらえる性能も確実。世界の一流プレイヤー達がパワーバドミントンを目ざしている現在、これこそまさにうってつけのもの。カーボンならヨネックスです。

●日本初のこと－このラケットにはRとXの表示があります。Rはレギュラーでスナップ打法用。Xはエキスパートでフルスイング打法用です。

YONEX®